That's Communication
1993年4月10日発行（毎月1回15日発行）増刊号通巻499号昭和29年2月20日第3種郵便物認可
X-PRESS

CONTENTS

大アンケート大会!!

久し振りデス！アンケート！

いつもいつもＸに全身全霊を尽くして下さっているファンのみなさんの意識調査！！
という訳でですね（TOSHI のラジオ口調で（笑））何かと、いたらない部分もあります
Ｘファンクラブですが…みなさん一人一人の意見をここで聴いて、出来る限り反映させて
いければ、もっともっと凄いファンクラブを作る事が出来るのではないだろうか…と思い
今回のアンケート実施となりました。毎日Ｘで頭が一杯のあなた、又、Ｘが暮らしの支え
になっているあなた（笑）！せっかくファンクラブに入ったんだしなぁ…こんな事してみ
たいなぁ…と日頃いろいろ考えてくださっているあなた！私達に是非、意見を聞かせて下
さい！！下記の質問の答えを、レポート用紙などに書いて「Ｘファンクラブアンケート係
」まで送って下さい…御協力お願い致します…。

Ｑ１：現在、Ｘファンクラブに入って良かったと思いますか？思うとすると、それはどんな時ですか？

Ｑ２：会報について
①内容には満足していますか？又、満足していないとするとどんな所ですか？
②発行回数には満足していますか？

Ｑ３：特典について
・入会時にもらえるキーホルダーやカード型会員証などには満足していますか？又、満足していないとするとどんなものが良いと思いますか？
・ファンクラブにどんな特典があるといいな、と思いますか？（会報やチケット優先などの他に）

Ｑ４：会費について
・現在の会費（１年間￥４０００）は、高いと思いますか？妥当だと思いますか？

Ｑ５：活動について
・ファンクラブとして、年４回の会報やチケット優先などの他にどんな活動を望みますか？
・会員同士の交流の場として、集いやイベントなどが設けられるとすると、どんなものを希望するか、案がある様でしたら具体的に書いて下さい。

Ｑ６：通信販売グッズについて
・現在迄行ってきたファンクラブオリジナルグッズを購入した事がありますか？
・商品には満足していますか？
・商品の値段は高いと思いますか？妥当だと思いますか？
・オリジナルグッズとして、どんな商品があったら良いと思いますか？
・コンサート会場で購入するグッズとして、どんな商品があったら良いと思いますか？

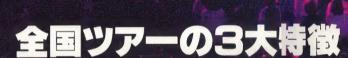
Ｑ７：あなたは他のアーティストのファンクラブに入っていた事がありますか？又、現在も入っていますか？

Ｑ８：あなたが考えるＸのファンクラブとはどうあるべきだと思いますか？

ちょっと難しい質問も有りますが、宜しくお願いします…。答えて頂いたものは全部目を
通し、これからのＸファンクラブに役立てていきたいと思います！
Ｘだけでなく、ファンクラブも世界を目指す!!（わお！本当？）

X FILM GI

1993

全国ツアーの3大特徴

1. 入場者全員に特別プレゼントあり!
2. LIVEそのもので迫る照明、特効付き!
3. ここでしか手に入らないXグッズ販売あり!

全曲L. A Shootingのスタジオライブ!
未公開映像を見逃すな!

日程	会場	開演時間	発売日
7/1（木）	調布グリーンホール	18:30	5/23
7/2（金）	千葉文化会館　大	18:30	5/23
7/5（月）	山梨県立県民文化ホール　小	18:30	5/23
7/6（火）	長野県県民文化会館　中	18:30	5/23
7/7（水）	松本文化会館　中	18:30	5/23
7/9（金）	高松市民会館	18:30	5/16
7/10(土)	愛媛県民文化会館　サブホール	18:30	5/16
7/12(月)	鹿児島　谷山サザンホール	18:30	5/16
7/13(火)	福岡電気ホール（２回）	①16:30 ②19:30	5/16
7/14(水)	長崎平和会館	18:30	5/16
7/16(金)	熊本県立劇場　演劇ホール	18:30	5/16
7/17(土)	大分農業会館	18:30	5/16
7/19(月)	広島アステールプラザ　大	18:30	5/9
7/21(水)	和歌山市民会館	18:00	5/23
7/23(金)	山形県民会館	18:30	5/30
7/24(土)	新潟フェイズ	18:30	5/30
7/25(日)	新潟フェイズ（２回）	①15:30 ②18:30	5/30
7/27(火)	埼玉会館　大（２回）	①15:30 ②18:30	6/6
7/28(水)	豊橋勤労福祉会館	18:30	6/13
7/29(木)	名古屋市民会館（２回）	①16:00 ②19:00	6/13
7/30(金)	福井県民会館	18:30	5/30
8/2（月）	金沢市文化ホール（２回）	①15:30 ②18:30	5/30
8/3（火）	富山県教育会館（２回）	①15:30 ②18:30	5/30
8/5（木）	市川市文化会館	18:30	6/6
8/6（金）	栃木県総合文化センター	18:30	5/30
8/7（土）	神奈川県立県民ホール（２回）	①15:30 ②19:00	6/5
8/8（日）	厚木市文化会館	18:30	6/5
8/10(火)	静岡市民文化会館（２回）	①15:30 ②18:30	5/22
8/11(水)	浜松市民会館	18:30	5/22
8/12(木)	京都会館　第二（２回）	①15:00 ②19:00	6/13
8/13(金)	奈良県文化会館	18:00	5/23
8/14(土)	岡山市文化ホール（２回）	①15:30 ②18:30	5/9
8/16(月)	渋谷公会堂（２回）	①15:30 ②18:30	6/27
8/20(金)	青森市民文化センター（２回）	①15:30 ②18:30	6/6
8/21(土)	盛岡劇場（２回）	①15:30 ②18:30	6/6
8/22(日)	秋田県児童会館	18:30	6/6
8/23(月)	弘前文化センター	18:30	6/6
8/25(水)	札幌市民会館（２回）	①16:30 ②19:00	5/23
8/27(金)	郡山市文化センター	18:30	6/13
8/28(土)	仙台イズミティ２１　大	19:00	6/13
8/30(月)	横須賀市文化会館（２回）	①15:30 ②18:30	6/5
8/31(火)	水戸市民会館	18:30	5/30
9/3（金）	群馬音楽センター	18:30	5/30
9/6（月）	神戸国際会館	18:30	6/20
9/7（火）	大阪サンケイホール（２回）	①16:00 ②19:00	6/20
9/8（水）	大阪サンケイホール（２回）	①16:00 ②19:00	6/20
9/10(金)	四日市市文化会館	18:30	6/13

申込み方法

チケットの申込みは郵便振替でお願いします。（電信不可）
郵便局に備え付けの郵便振替用紙に下記の事項を記入し、現金をお振込み下さい。
口座番号：東京９－３５６９８７
加入者名：（有）バックステージプロジェクト
払込人住所・氏名：あなたの住所・氏名
金額：チケット料金×枚数＋返送手数料￥５００
裏面通信欄：①イベント名（X　FILM　GIG）
②公演日及び会場名・開演時間
③希望枚数
④あなたの電話番号
⑤会員番号（X－〇〇〇〇〇〇番と書いて下さい）

全席指定￥３０００
枚数制限なし
締め切り／4月15日
（消印有効）

お願い（必ずお読み下さい）

＊チケット料金は税込みです。
＊キャンセル・変更は一切出来ません。
＊１枚の振替用紙にて１公演のみのお申込みになります。公演日、会場、開演時間などが変わる場合は、必ずそのつど、振替用紙を変えて下さい。
＊お申込みの控えはチケットが届くまで、大切に保管して下さい。
＊申込み方法を１つでも間違えると返金になる場合があります。
又、優先予約分のチケットが売切れた場合は返金になる事があります。
（返金の場合、申込み方法を間違えた場合→送料及び返信手数料
チケットが売切れた場合→返信手数料
を差し引かせて頂きます。又、返金の方のみ一般発売前に御連絡致します。）
＊公演日５日前になってもチケットが届かない場合は下記まで御連絡下さい。
連絡が無いまま公演日を過ぎましても払戻しは致しません。
＊チケットは公演日（開演時間）ごとに、公演日の１０日～２週間前にお手元に届く様に発送致します。
＊お席は抽選にて決めさせて頂きます。

以上あらかじめ御了承下さい

優先予約に関するお問い合せ／バックステージプロジェクト
048－883－2711

made in HEAVEN LIVE REPORT

年末の「紅白」、年始の「タモリの音楽ステーション」（これは、12月26日にNO　TAX、27日にXが収録済みだったのですが.....）を正月ボケの中、しっかりとビデオ録画しておいて、あとから何回も見直して「早く生のXが見たいよぉ」なんてウズウズしている人も大勢いることでしょう。
そんなXの水面下の活動とは別に、メンバーがソロとして活動を始めている中、2月19・20日の2DAYS「made　in　HEAVEN」と題したTOSHIのソロコンサートが決定しました。チケットの優先予約は殺到し、その後の一般発売はすぐに完売といった状況でした。

2月19日、14時頃会場に着くように出発しようと思っていたのですが、スタッフが車でNKホールまで行くというので「ついでに乗せて行って下さい.....」とずうずうしいお願いをして、予定よりも早い時間の出発となりました。風は強いながらも快晴。車の中は、2月ながらもポカポカ春の日差しがなんとも気持ち良くて、思わずまぶたが閉じてしまいます。13時前、ディズニーランドを横目に会場のNKホールに到着です。海に沿ってきれいなHOTELが建ち並び、ちょうどその中心点にディズニーランドが位置していて、HOTELの間にパルテノン神殿を思わせるような白い造りのNKホールがあります。このBAY－AREAの空間はちょっと夢心地です。車から降りると風に乗ってかすかにディズニーランドから音楽が聞こえてきます。「あそこにはミッキーちゃんがいるのね」なんて思いながら、NKホールの楽屋口に向かいます。ホール正面にはすでにコスプレをした方々が待っています。

スタッフに連れられてホールの裏口から入って行くと、ちょうどステージの裏を通って行くようになっています。この通路は一面ガラス張りで海が一望できるようになっているのです。話によると昼間のコンサートなど催し物のときはステージの後ろの壁を上げてステージセットとして、客席からも海や夕日をみる事ができるそうなんですが....（見てみたい）。私が通った時、海には船が浮かんでおりまして空には飛行機が飛んでおりました。「おはようございます。」と通路を抜けてからヒョコヒョコッと楽屋に向かって行くと楽屋前がスタッフのミーティングスペースになっていました。そこには、久しぶりにお会いするスタッフ（コンサートの時しか会わないから）が勢ぞろいです。あるスタッフが「さっきココに来るとき、サンタクロースが立ってるなぁと思って歩いて来たらYOSHIKIの衣装着たコだったからビックリしちゃったよ。」と言って私が返事をする間もなく私の横を通り過ぎて行きました（笑）。とりあえず荷物を置いてしまおうと思い楽屋の扉を開けました。開けてから思い出したんですが、ココの楽屋は写真を参照していただければわかるのですがHOTELの部屋のようになっていてキレイなんです。楽屋前にはすでに色々な方からお花が届いています。今日のタイムスケジュールを見るとTOSHIの入り時間は14時。時すでに14時.....
20分程過ぎた頃にTOSHIが到着。TOSHIは「調子？いいよ。」とニコニコしながら楽屋に現れました。リハーサル開始予定時間が、14時30分。すぐにステージに向かいリハーサルに入ります。ステージでは一足先にNIGHT　HAWKSの方々が音出しをしていました。「おはようございまーす。」とステージ上であいさつをかわし、音合わせを始めました。メンバーとのコミュニケーションに

バッチリのようです。....が、どうも機材の調子が悪いということでバンドリハーサルを一時中断。楽屋に戻るとその頃、ＰＡＴＡが到着していました。楽屋はＴＯＳＨＩの楽屋、ＨＩＤＥの楽屋、広い楽屋がＰＡＴＡとＨＥＡＴＨ、と3つに別れています。「今日、あったかいよね。」と楽屋のソファーに座って落ち着くとビールを飲みはじめました。目の前に用意してあるサンドウィッチをちょっとつまんで、ＰＡＴＡが座ったソファーの横に置いてあったスポーツ新聞に手をのばし読み始めました。続いてＨＥＡＴＨも到着。

ＨＥＡＴＨ「オレの楽屋はどこ？」

スタッフ「奥のＰＡＴＡさんと同じトコです。」ＨＥＡＴＨが楽屋に入ると

ＨＥＡＴＨ「おはよう。」

ＰＡＴＡ「あー、おはよう。」

ＨＥＡＴＨ「昨日、家に帰ったの？」

ＰＡＴＡ「うん、帰ったよ。」とあいさつ。

実は、前日からＴＯＳＨＩ・ＨＩＤＥ・ＨＥＡＴＨはＮＫホールの隣のＨＯＴＥＬに泊まっていたのです。しかし、ＰＡＴＡだけは前日のリハーサルが終わると「ネコにエサをやらなきゃいけないから」と家に帰ったそうです（なんともＰＡＴＡらしい）。

　ＴＯＳＨＩはこの間に楽屋に戻り、開演前の曲、終演後の曲をスタッフと決めています。「まぁ、最後はＪＯＨＮ　ＬＥＮＮＯＮでしょ。やっぱり。イマジンだろ....」と、終演後の曲はすぐに決まってしまいました。ふっとメイクボックスのところに目をやるとカワイイくまさんのぬいぐるみがチョコンと座っています。「ＴＯＳＨＩくん、このくまさんは何ですか？」と聞くと「えっ？これ？ふふん....お守りっ。」とくまさんを抱えて「ハイ、ポーズ」（プププッ。ちょっとかわいい....なんて言ったら失礼ですか？）

　しばらくすると、舞台監督さんがやってきて「機材が時間かかりそうなんで、先に坂崎さんのリハーサルやってしまいましょう。」と声をかけました。今日、1日目のゲストはＮＯ　ＴＡＸでもおなじみのＴＨＥ　ＡＬＦＥＥの坂崎さんです（後で聞くとＴＵＢＥの前田さんはレコーディングの為、欠席ということでした）。ＴＯＳＨＩは楽屋から出ると「坂さんの楽屋どこ？」とスタッフに聞いて坂崎さんの楽屋へ行きました。その後、ＴＯＳＨＩと坂崎さんはステージに向かって行ったので私は客席から見ることにしました。ステージの中央にイスと譜面台が二つずつ並んでいます。そこにギターを抱えた御両人が座り「まずは....っと。」と譜面をペラペラめくっています。「それじゃ、いきましょうか。」ここからは坂崎さんが仕切り役のようです（笑）。［東へ西へ］［22才の別れ～待つわ］［あずさ2号］［外は白い雪の夜］といつもとはちょっと違ったメニューです。雑談や、打ち合わせを交えながら進んでいきます。［待つわ］が終わると「前田がいないとなんかモノ足りない気がするなぁ。（笑）」と言っておりました。曲の間のＭＣも打ち合わせをしていたりで、ミニライブさながらでした。客席は手のあいているスタッフや関係者がポツポツと座って見ていました。私はちょうどＡＬＦＥＥのマネージャーさんの横に座って見ていたのですが「結構、楽しんでるでしょ。」と言われて「ははは....」と笑うしかありませんでした（事実、楽しんでいたのです）。こうしているうちに坂崎さんとのリハーサルも終わり、バンドリハーサルに戻ります。

その後ステージには、ＨＩＤＥとＰＡＴＡが加わり［ＳＯＭＥＢＯＤＹ　ＬＯＶＥＳ　ＹＯＵ］が始まりました。これがまたカッコイイ！メンバーもリハーサルとは思えない程のテンションの高さで、とても気持ち良さそうです。演奏し終えるとＴＯＳＨＩが「終わったらさ、一列になってカーテンコールやろうよ。」とステージにいるメンバーを前に呼び出しました。一列になったメンバーが手をつなぎ始めると「こりゃ、デコボコだな（笑）！」とＨＩＤＥが横を見回します。確かに、ＮＩＧＨＴ　ＷＡＲＫＳの青木さんは大きい。リハーサルがすべて終了し、いざ本番へ。「音声さん、照明さん、スタッフのみなさん、本番よろしくお願いします！」ステージからマイクを通してスタッフに呼びかけるＴＯＳＨＩ。スタッフへの気遣いと本番への気合いが感じられます。時すでに17時30分。　楽屋に戻るとＴＯＳＨＩはメイク、着替えと大忙し。関係者の方の出入りもかなり多くなっています。開場間近なので正面入り口の方に行ってみると、すでに人・人・人.....。外に出てみると海からの冷たい風がかなり吹いていました（待ってた人、寒かったでしょ）。入り口を入ってすぐのところにはＹＯＳＨＩＫＩから届いた赤いバラが飾ってあります。さてさて、ＴＯＳＨＩはどんな具合かなと楽屋を覗きに行くと関係者の方がたくさんいて覗けなーい。そこで、ＰＡＴＡとＨＥＡＴＨの楽屋へ....ＰＡＴＡはまだソファーに座っております。さっきと変わった事といえば、ギターを抱えてシャカシャカ弾いてる事くらいでしょうか。しかし、いつものことながら楽器を持ってる時はホントに幸せそうな顔をしてますよ、みなさん。ＨＩＡＴＨはメイクを始めていますので、あまりしゃべりません。ＨＩＤＥの楽屋に行ってみるとこれまたメイク中。楽屋を行ったり来たりしているうちに舞台監督さんが「そろそろお願いします。」とＴＯＳＨＩの楽屋に呼びにきました。客席はもう埋め尽くされています。

　客電が落とされＳＥが流れ始めると開場は期待の声が渦巻いています。久しぶりにこの声を聞いてとりはだが立ってしまいました（笑）。［ＷＥＬＣＯＭＥ　ＴＯ　ＭＹ　ＤＥＳＴＩＮＹ］から始まり客席の声は楽屋まで聞こえていきました。曲がおわってＴＯＳＨＩの第一声。「元気だったかー！」ＸのＴＯＳＨＩである。「元気だったかーっ！」テンションが上がっている。楽屋でこれを聞いていたＰＡＴＡとＨＥＡＴＨは「（笑）いきなり叫んでるなー！」「Ｘのライブと変わらねーなー（笑）。」と妙にウケていました。ＨＩＤＥの楽屋に行ってみるとやはり「ＴＯＳＨＩ、叫んでるねぇ（笑）。」の一言が返って来ました（笑）。　ライブも中盤を迎えた頃、楽屋に戻ってみるとギターを取り上げられ（？）ステージに持っていかれてしまったＰＡＴＡは手持ち無沙汰からか、ソファーで寝ていました（笑）。いつのまにかメイク、着替えは終わっています。マイペースな方です。ＨＥＡＴＨは楽屋の外のミーティングスペースにある、テレビモニターを見ていました。カメラを抱えてＨＩＤＥの楽屋を覗いてみると「もうすぐで出来上がりだからね。」と亀山氏。ＨＩＤＥは鏡越しにニヘラニヘラしています（この笑顔が結構こわかったりするのです....）。［ＶＯＩＣＥＬＥＳＳ　ＳＣＲＥＡＭＩＮＧ］が終わり、ＴＯＳＨＩが息を切らせて衣装替えに戻ってきました。「水ちょうだい。」スタッフが水を渡します。わずかな時間での着替えなので、言葉を交わす時間もありません。［70's Rock MEDLEY］（これまたカッコイイ！）の頃にはＨＩＤＥ・ＰＡＴＡ・ＨＥＡＴＨの着替えも終わり、3人ともモニターを見ていました。

次はＨＩＤＥの出番。舞台監督さんが［ＨＩＤＥ、もうそろそろ.....」と呼びにきました。ＨＩＤＥが［made in HEAVEN］でステージに登場すると、ＰＡＴＡとＨＥＡＴＨもステージ脇に誘導されて行きました。私もその後ろを着いて行き、ステージ脇から見ることにしたのです。ＴＯＳＨＩがＰＡＴＡをステージに呼びいれ、ＨＥＡＴＨを呼びいれると開場はすでにテンションが最高潮に達していて、とにかくスゴイ歓声です。ＴＯＳＨＩもＨＩＤＥもＨＥＡＴＨもＰＡＴＡも端から端まで走り回り、大変な騒ぎです。Ｘではないけれど、メンバーが目の前で動いているのを久しぶりに見て、興奮しちゃった人もかなりいるのではないですか？曲の最後にスゴイ特効。ＨＩＤＥの言ったデコボコのカーテンコールで本編の幕を閉じました。

・・・・・・　楽屋に戻ってからの笑い話ですが

ＨＥＡＴＨ「なぁ、今どこで見とった？」

ＦＣ、スタッフ「ステージの横で」

ＨＥＡＴＨ「さっきの特効、ＰＡＴＡ知っとった？」

ＰＡＴＡ「知ってたけどビックリした」

ＨＥＡＴＨ「あれで、ＴＯＳＨＩくんおもいっきりコケとったよ（笑）。」

ＦＣ「えー！（笑）知らなかった。」

ＰＡＴＡ「いや、ＨＥＡＴＨすごい前の方にいたからさ、あっコイツ特効あるの知らねーんじゃないかなぁって思って呼び戻そうかとも思ったんだけど間に合わなかった（笑）。」

ＨＥＡＴＨ「オレもビックリして後ずさりしたんだけど、ＴＯＳＨＩくんは階段のトコで尻もちついとった（笑）。あとで聞いてみよ。」

・・・・・終演後、ＴＯＳＨＩがＰＡＴＡ・ＨＥＡＴＨの楽屋を訪ねて来ました。。

ＴＯＳＨＩ「おつかれさま！」

一同「おつかれさま！」

すかさずＨＥＡＴＨ「ねえ、ＴＯＳＨＩくん。さっきの特効でおもいっきりコケたでしょ（笑）。特効あるの知らなかったの？」

ＴＯＳＨＩ「話は聞いてた。でもビックリしちゃったんだよ（笑）。ビックリして後ずさりしたら階段のところでつまづいたんだよなぁ。」

ということでした（笑）。今日はお疲れ様でした。明日もがんばって！

　2月20日。今日のリハーサルが始まります。昨日よりも幾分か余裕があるように感じられます。［70's Rock MEDRAY］の時は本番と同じようにステージ下の左端から前を駆け抜け、ステージに上がっていきます。客席で見ている私達スタッフに手を振ったりの余裕ぶり。照明が明るいと前の方はかなり見えるようですよ。いつの間にかステージの左から、ＨＩＤＥが「おかようございまーす。」と登場。そのままギターを肩からさげて、ＨＩＤＥの立ち位置に戻ると、ＮＩＧＨＴ　ＨＡＲＫＳの青木さんが「ＨＩＤＥ、今日の最後は肩車してやろうか。」と声をかけるました。「（笑）。肩車？」と笑っておりました。曲は［made in HEAVEN］。ステージから客席に降りたＴＯＳＨＩは舞台監督さんと客席を歩きながら歌っています。曲が終わる頃にステージに戻り「いいねぇ。カッコイイよ。」と一言。終了するとＨＩＤＥはまたヒョコヒョコっと退場していきました。

後で聞いた話によると、前日HOTELでHEATHやスタッフと相当飲んだらしく、寝たのは朝の8時頃だったそうです。酔っぱらいも出たようで、状況はどうやらスゴかったらしいです（笑）。

リハーサルは福山　雅治さんとのコーナーに突入です。「よろしくお願いします。」と握手をして、譜面台の前に腰掛けます。〔STAND BY ME〕など一通り終わり「次なんだよなぁ.....」と福山さん。次は〔SAY ANYTHING〕なのです。歌い始める前から「大丈夫かなぁ。」とつぶやいていたので私は、高いから心配してるのかなと思っておりましたが、歌い終わって「TOSHIさん、大丈夫ですかねぇ。おこられちゃったりしませんかね。」とちょっと弱気です。何を気にしていたのかと思えばお客さんから反感をかうのではないかとずっと気にしているようです。「（笑）大丈夫 だよ！」とTOSHI。

楽屋にはHEATHが到着していました。「おはようございます。昨日はすごかったらしいですね。」「そーだよ（笑）。」とHEATH。しばらくして、「お弁当食べようかな。」と楽屋に置いてあるお弁当を手にしました。食べ始めると「なぁ、このハンバーグ、温めてもらえんか聞いてきて？」とHEATH。大好きなハンバーグが冷めてて、ちょっとかたいみたい.....でも残念なことに電子レンジはなかったのです。「なら、いいわ.....」とまた食べ始めました。

リハーサルが終わったTOSHIは、すぐさまメイクが始まります。なかじに頭をいじられながら「あー、オレやることたくさんあるよォ。なにやるんだっけな。あっ、薬飲まなきゃ。」とメイクボックスの横に用意してあったノド薬を飲みます。「あっ、ENDLESS RAINのコードの確認もしなきゃ。」スタッフも楽屋を行ったり来たりです。「昨日、MCで叫びすぎちゃってノドいたくなっちゃったから、今日は叫ばない.....」という言葉を耳にしました。

楽屋には、PATAも到着。

FC「おはようございます。今日もいい天気でしたよね。」

PATA「ああ。今日は早く起きたから、洗濯してふとん干したよ（笑）。」

スタッフ「（笑）健康的な生活。」

PATA「そんで、食器も洗っちゃったからわざわざ汚すのも何じゃない？だから、アルミ鍋の鍋焼きうどん買ってきてさ、あれ作って食ったんだよ。」

一同「（笑）。スゴイ！」ホントに健康.....。

PATA「（スタッフに向かって）昨日の帰り（PATAは昨日も家に帰りました）食ったラーメン、いまいちだったな。」

スタッフ「スープがぬるかったよね。」

HEATH「オレらは、朝までずっと飲んでたよ。」

スタッフ「部屋で飲んでたの？」「部屋って広いんだよね。」

HEATH「そうそう。あっ、部屋といえばさ、シャワールーム。ガラス張りなんだ　よ。一人とはいえ、あれはちょっと恥ずかしいわ。」

スタッフ「♪フンフフフ....とかハナうた歌いながらシャワーあびちゃうの？（笑）」

TOSHIの楽屋では.....着替えの為、姿見の前にいるTOSHI。その横にスタッフがいて、コードの確認をしています。時間もあまりないので、膝を鍵盤がわりに叩きながらコードをつぶやいています。「なんか忙しいなぁ。」といいながらも気合いを込めるTOSHI。

開演です。スゴイ歓声が楽屋まで聞こえ「始まったな」という感じです。1曲目が終わりMC。ありゃりゃん？さっきまで「今日は叫ばない」っていってたのに....今日も叫んでいます（笑）。でもTOSHIにはこれが似合ってますよね。

心配していた福山さんのコーナー。〔SAY ANYTING〕も大合唱で終わり、「ホッ」としたのではないでしょうか。このコーナーが終わるとNIGHT HAWKSの青木さんとTOSHIの〔紅〕アコースティックバージョンです。HIDEはは昨日この曲を聴いて「アレンジするとこんな曲になるんだなぁ。」と感心していました。今日は楽屋のソファーに座りギターを抱えてステージから流れてくる〔紅〕を一緒に弾いています。それもニヘラニヘラとあの笑みを浮かべながら.....「スゲーッ。オレ気に入っちゃったよ（笑）。」曲が終わると「PATA達はメイクとかおわってる？」FC「終わってますよ。」HIDE「じゃ、みなさんにあいさつでも。」と隣の楽屋に向かいました。

HIDE「おはよう。」

PATA「来た来た（笑）。」

HEATH「昨日大丈夫だった？」

HIDE「昨日、工藤ちゃん（HIDEのスタッフ）オブジェだったからな（笑）」

その場にいた人しかわからないおもしろさだったようです。

みんなメイクも終わっているしHIDEの髪の毛が大きかったりで、広い楽屋もなんとなく空気が薄く感じます（笑）。

TOSHIが衣装替えで楽屋に戻ってきます。「あーっ、脱げないよォ」汗で衣装がくっついて脱ぎにくそうです。着替えが終わり、舞台監督さんの誘導でステージ横の小さな入り口から下に降ります。ここからステージ下を駆け抜けるのです。TOSHIが深呼吸をして舞台監督さんのGOで、TOSHIが飛び出していきます。モニターを見ていたHIDEは「もうXのTOSHIになってるな（笑）。」

HIDEがステージに向かい、続いてPATA・HEATHも向かいました。楽屋にいたスタッフもステージの横に向かいます。私は、そういえばこのステージはFILM GIGSの時に使ったんだよな、なんてことを思い出していました。

アンコールの〔ENDLESS RAIN〕が流れてきます。客席の方へ回ってみると大合唱になっていました。泣いてるコもいます.....いつまでも終わらない大合唱にTOSHIも酔いしれているようにみえます。みんなの声を聞くのも久しぶりのことですものね。

客電がつき、イマジンが流れ始めました。全て終了です。楽屋に戻ってきたTOSHIはスタッフの人達の「おつかれさまでした」の声で迎えられます。全力を使い果たしたTOSHIは鏡の前に深く腰掛けました。スタッフの武氏が楽屋に「おつかれさま！」と入ってきました。TOSHIとかたい握手をかわし、肩を抱き合います。ホントにお疲れさまでした。

外は昼間よりも冷たい風が吹き付けているのでした。

これから東京に戻って打ち上げです。他の楽屋では、HEATHがバナナを食べていました（笑）。

TOSHI／SOLO LIVE ＜追加公演＞

FC会員チケット受付け！！

93'4月17日（土）OPEN17:30 ／START18:30
18日（日）OPEN16:30 ／START17:30
会場／東京・日比谷野外音楽堂
指定・立見¥5,150（税込み）

ベイNKホールの興奮もさめやらぬ内に、追加公演が決定しました。御存知かと思いますが、一般発売は3/21で既に終了しております。緊急で決定した公演の為、一般発売以前の会員優先予約という形での受付が出来ませんでした。又、公演日も近い事と、後追いという形での受付になる事もあり、電話予約の方法をとらせて頂きました。下記の事項をよく読んでお申込み頂く様、お願い申し上げます。

ファンクラブ特別電話予約日：1993年4月5日（月）
電話受付番号：チケットぴあ　03-5237-9999
受付時間：16：00~19：00
枚数制限：お一人様1コール限り4枚まで
相言葉：「メイドインヘブン」＋会員番号

―― 申込みの際の御注意（必ず読んで下さい）――

＊電話番号は間違いの無い様、正確にダイヤルを！
＊相言葉と会員番号は、会員の方を判断する為のID（証明）となるものです，必ずハッキリとオペレーターに伝えて下さい。住所・氏名などもオペレーターに尋ねられたら、相手にわかる様に　ハッキリと伝えて下さい。
＊予約成立後のチケットのお引き渡し方法は…
①店頭でのお受け取り（チケットぴあのお店ならどこでもOKです）
②メール・サービスによるお宅までの郵送（手数料500 円）
の2通りです。
＊予約に関する事項はオペレーターが詳しくご案内しますので、それに従って頂きます。
＊上記時間外での会員特別予約は行っておりません。

以上をあらかじめ御了承下さい。

川谷拓三さんは何を考えているのでしょうか？

このエレベーターでNHKホールへ向かうのです

そ、そんな近くにカメラが…淡いドアップになるんちゃう？

PATAちゃーん、まさか寝てるんですか？（笑）

あとは出番を待つだけ…。

TOSHI 君御愛用のスリッパ（去年の会報の紅白レポートにも載せたなぁ（笑）

PATAの靴下はF××KIN'マーク（笑）。

この衣装にとても似合ってしまうおサイケギター

紅白歌合戦!!

まいどっ！HEATHです。みんな元気でやっとー？

「おっ、なんだオメエ仕事してるじゃねーか」なんて言われた気がします（笑）

この角度、エエ感じやろ？

まだHIDEちゃんは食事していません。

いざ、出陣!!

キャロ～ンをやってる佐藤慶さんです（笑）
（テレビを良く見る人はキャローンがわかる筈）

コートがシワにならない様に気を付けて座らなアカン。

楽屋で「SAY ANYTHING」を歌っているTOSHI。

恵子san
動いてる汽車の中から、たった1回のシャッターチャンスをものにした（なんておおげさですが）力作なんです。トシとエックスの合体です。何かの会社の立体駐車場です。
● こりゃキレイにまとまっておりますねェ。

あかりんsan
只今、イギリス留学中です。ロンドンでこの「えっちビデオ屋さん」を発見し恥を捨てて撮りました。
● この写真、何人かの方が送ってくれてたんだけど勉強がんばれ～!の意味を込めてあかりんsanの写真を使わせてもらいました。店の前で見てるヤツがひとりいるぅ（笑）。

☆海外あだると編☆
石塚 順子san
シドニーのキングス・クロスという通りにあったお店です。いわゆる一つの「ADULT SHOP」です。その56軒先の所に、また怪しいお店「HOT PINK XXX」がありました。少々テレつつも、開き直って撮りまくってしまいました。
● ここだと写真が小さくて見えないと思うんだけど「HOT PINK XXX」の右下の看板にWELCOMEって書いてあって、その下に五ヵ国語書いてあるんだけど日本語は「歓迎します。どうぞ入って下さい。」って下手な字で書いてあるんですョ（笑）。

SHIHOsan
これは、病院の帰りに見つけたものです。どんな店なのかわからないけど、とりあえず「としみつ食堂」が目に入ったんで撮りました。
● 確かに、こりゃ目立つよね。こんだけ、デカデカと宣伝してるのに、おさしみとか冷凍モノが出てきた日にゃ、ショックだよねェ。

荒井 由美子san
新潟の海に行く途中で見つけて思わず、爆笑してしまいました。この手書きの看板が、なかなかいい味出してますね。この日はお店が閉まっていて「としのちゃんこ鍋」が食べれなくって残念でした。
● 店の名前よりも「めし」の字の方が大きいのね。「ちゃんこ」と「とし」の間にハートが書いてあるのは見えますか?

秀爾san
静岡県に行った時に入った博物館で買ったPOST CARDです。ずっと使いみちがなくて5年間くらいもファイルの中でした。何かパーマンみたいなカッコしてますが、私はテレビでみた事がありません。
● 私もないです.....知ってる方、いらっしゃいますかぁ?教えて下さい。

KUMIKOsan
このコーナーに送りたくなるような建物に出会いました。上高地の山の中でこの山荘の名が目に止まった時は、心臓がドキンとしてしました。
● もう一人、よしろうsanも送ってくれたんだけど、ちょっと写真が小さかったのでゴメンナサイ。たまには山道も歩きたいなぁ。

MIZUKIsan
この看板を見たとたん私の友達は「HIDE～ーっ」と叫んで走って行き、この看板の目の前で転んで怪我しました、カメラを持ったまま。そこで意地の悪い私は、友達の手からカメラを取り上げしっかりおさめました。転んだ写真も送りたかったけど、余りにも無様なのでやめときます。看板に絶叫した人はきっと彼女だけでしょう。
● ホンモノの宣伝看板ならともかく、店の看板を見て叫んだ事はないが....酒のんで気分よすぎて看板蹴ってつき指した事ならある。転んだ写真があるなら送らなきゃ（笑）。そういう時の写真って大笑いしちゃうのが多いんだよなぁ。みなさんは持ってないですか?

「よっちゃんのできるトコ」
すみこsan
もう送られた方がいるかもしれませんが「よっちゃんいか」はここで造られているようです。みつけた時はびっくりでした。
● いやぁ、今までにも「よっちゃんいか」だのなんだのと、このよっちゃん食品のモノはたくさん送られてきたのですが、もとはココのようですね。

秀香san
私が一番気にいってしまった「ラーメンそばひで」です。ずーっと探し続けて、やっと車の中から見つけました。HIDEさん命の私にとって涙があふれる程うれしかったです。
● これは.....店?ゴミ?看板の後ろが店?一応、紅白の幕が張ってあるけれど、あまりめでたそうにも見えないしィ。今度は、中まで見てきて下さいね。

大阪の咲乱san
田舎に行った時に発見しました。おばあちゃんちに行ったらいきなりあって、まるで私を待ってたようだったから、仕方なく(?!)ずっと愛用してました。
● あるよねぇ。田舎に行くとこういうモノ。刺繍物の枕カバーなんて、懐かしい気がするぅ。

SHIORIsan
私が学校に行く時にあるものです。私の街にはXがいっぱいなのでうれしいです。
● SHIORIchan、この店でダンスしてきてェ。どんなお客さんがいるのか見てきてェ（笑）。

まりぃsan
友達の家に行った時にスーパーで見つけた、その名も「よっちゃんのぶっちぎりいか」。よっちゃんいかは以前に載っていましたが、今回はぶっちぎり。まさしくヨシキ様にふさわしいイカといえるでしょ?味もちょっと辛めで酒のつまみにグーです。
● ぶっちぎり!漢字で書いてなくてよかったよかった（笑）。酒のつまみになるものは送って下さらないとォ（ウソウソ）。

河合 慎kun
母さんの会社の目印です。
そして、母さんはHIDEのFANです。
● 母さん、息子の名前が作品が載ったヨ。今夜はごちそうだね。（又、意味のない事を.....）

SHOCK AGE in Yokohama

　今日は横浜に来ています。年が明けて、お正月気分も抜けきらない1/6 。雑誌主催のイベントにHIDE&PATA のゴールデン・コンビが参加すると聞きつけ（しかも皆さん御存知「東京ヤンキース」のライブに飛び入り参加！）行って来たのは良いのですが…が…がしかし！「いつも道に迷っている様なので今度は迷わないで下さいね」という優しい皆さんからのお便りを頂いていたにもかかわらず、今まで取材した中で一番！という位の大迷いをしてしまいまして…（でも地図が凄くわかりにくかったんだよぅ　）余りわからないもんだから電話して訪ねたライブハウスのお兄さんにはムッとされるし…右も左もわからないし…そんな事はどうでも良いんですよね。そんなこんなで苦心してたどりついたライブハウスの入口…！アレ？HIDEがあんな所に…イヤ違う！凄いコスプレさん&ファンの方々…とにかく中に入って…と受付けを済ませ、会場内へ入ろうとすると…!!凄い人！げげっ。楽屋はこの人波を横切らなくては行けません。負けちゃいけない！っとカメラのバッグを背に楽屋入口のドアにたどりつき…（あの時邪魔してしまったファンのみなさん、ごめんなさい）アレ？PATAが来ている筈なのに、姿が見えない…中はバンドの方ばかり…どどどどどうしよう…えーん、HIDEは？PATAは？Xのスタッフは？とおろおろしていると、発見！東京ヤンキースのNORIさんがおりました。

　PATAならさっき事務所で寝てたよ（笑）」

その後、起き出してどこかへ行ってしまったらしいのです。HIDEは、今回はバンド数も多く、楽屋がとても狭い為、別で楽屋をとってメイク中です。小さくなっていると、あ、来た！ヤンキースのAMIさんと一緒にPATAがゆっくりこちらに歩いて来ます。どうやらXのスタッフとヤンキースのメンバーらと中華料理を食べに行っていたという事らしいです。（食事に出る時、ファンがライブハウスの回りを取り囲んでいたので、スキを見て「いまだーっ」と走ったとの事です（笑））その後、ライブハウスの事務所で寝ながらギターを弾いたり、雑談したりしていたとか…。グーグー寝てたわけでは無いんですね（当りまえか）。なんだかニコニコ顔のPATA。ヤンキースのUME さんらとなにやら楽しそうに話をしています。ヤンキースの出番が迫ってきます。

PATA「オレ、めんどくせーからこのまま出ちゃおうかなー（笑）」（この時PATAはもちろんノーメイクの普段着）前々出のDECAMERON の方々はステージから汗だくで帰ってくると「暑いー」を連発。メイクと着替え等がすっかり終わったMEDIA YOUTHのメンバーさんは、楽器を抱えてステージへと開かれた扉の前で「うわー、今日はかなり暑そうだよぅ…」と言っています。そう、なんと言ってもこの日は小さな小さな会場に数百人の方がぎっしり。照明と人々の熱気でステージ上はもの凄い暑さらしいのです。着替えの始まったヤンキース。と同時にHIDEがやって来ました！

HIDE「うーっす（笑）」

PATAを横に座らせて、メイクをしてあげているのはヤンキースのNORIさん。その様子を見てニコニコしているHIDEちゃん。なんだかほのぼの（？）していて良い感じです。すっかりメイクの出来上がっているHIDEを見てAMI さん

「HIDEちゃん、化粧すると話かけられなくなっちゃうんだよね（笑）」みんな集まってLIVEの打合わせと思われる会話が（笑）…

NORI「ダダダダーの所でしょ？」

HIDE「うん。“もうどうなってもいい”バージョン（笑）」

PATA「ははははは」

そんな和気合い合いの楽屋の中にMEDIA YOUTH の演奏する音が熱っぽく響いてきます。…ステージと楽屋の扉がいきなり開くと、熱演の終わったMEDIA YOUTH のメンバーの方々がなだれ込んできます。みんな汗でぐしょぐしょです…。ボーカルの方などは倒れ込んでしまっています。

「あ、暑い…」

HIDE「なんか凄い事になってそーだな…」

どんどんと着替えを始めてしまう東京ヤンキースの方々、おびえるファンクラブに

PATA「こいつら、いつもこんなんだからなぁ、ははははは」

ＦＣ「…　　　　」

HIDEはなんだかいつもの雰囲気とちょっと違うカンジ…黒い安全靴がカッコイイ…。すかさずそれを見付けて「どうしたのー、これー」と嬉しそうなNORIさん。イスに座って一服…のUME さん。なにやらローディーと楽しそうに話をしながら特攻服のソデを折り曲げたりしているAMI さん。終始イスをペタペタ叩いてじっとしているU・D・Aさん。そして今日は頭から東京ヤンキースに参加で、曲順表を立ったままじっと見ているPATA。フー、とタバコの煙を頭上にフいてはみんなの様子をみつめているHIDE。体を曲げたり伸ばしたりしてほぐしているスタッフ（笑）。ローディーの方々が忙しうに走り始めると、開演が近づいてきます。いつもHIDEちゃんと一緒のペイントモッキンバードが運ばれてきます。…上半身裸のままベースを肩にして、

AMI さん「いってきまーす！暑かったら報告に来るねー！」

と出番がもうちょっと先のHIDEに手を振ります。すかさずHIDE「AMI ちゃーん　皮ジャンはどうしたのー　（笑）」

AMI「あー（笑）そうかぁー、着てみようかなぁー（笑）」（と、暑いけど皮ジャンを着てみようとするAMI さん）

HIDE「あ、うそだようそっ　」

AMI「（ニコニコしながら）いや、暑かったら脱ぐから…ちょっと着てやってみるね（笑）」

そして、ステージへ出ようとした時、HIDEの元へ再びやってきて「あ、前もちゃんと止めてみました（笑）」みると、AMI さんの皮ジャンの前部はちゃんとチャックがしめてありました。

HIDE「いってらっしゃーい（爆笑）」

PATA「いってきまーす」…さぁ、幕が降ろされているステージへ向かった東京ヤンキース＋PATAの５人。お許しが出たのでステージ脇へカメラを持って行ってみたのは良いのですが…

暑いっ！！！！！

カメラのレンズがすぐにくもってしまいます。

ＳＥが始まると、もうすぐそこで凄い歓声（というか悲鳴というか）!!ヒー、こ、怖いよぅ…。幕が落とされ、もうなんだかめちゃくちゃのぐちゃぐちゃになりながら頭を振ってのりまくるファンが目に入ってきます。す、すごい…。PATAはどんどんステージの前方へ出ていってギターを弾きまくる、UME さんは爆声で叫ぶ、NORIさんも髪振り乱し…余りの迫力にクラッとしながらもとにかく撮ってみよう、と頑張ってシャッターをきってはみたのですがやっぱりシロートにはちょっとキツかったのでありました。…楽屋へ戻ると、HIDEはフー…と煙草の煙をくゆらせております。と、ギターテクニシャンの方がHIDEのギターを楽屋へと持ってきます。アレ？さっきどこかへ準備で運ばれて行った様な気がするのですが…？

HIDE「あっち（HIDEが立つステージの端の方）で（そのギターは）もらうよ」

テクニシャンの方「余りの熱さでチューニングが狂っちゃうんですよね（涙）」

ＦＣ「（心の中で）エー　」

復活してやってきたMEDIA YOUTH のボーカルDAISUKE さんにHIDE「大変だった？」

Ｄ「息が吸えないんですよ。扇風機もドライヤの風を浴びているみたいで…」

HIDE「ダイビング（客席に飛び込む事）したの？」

Ｄ「３回しました（笑）。もう、髪、やられましたよー」

HIDE「引張られたかぁ…」

…そうか…倒れ込んでしまう筈です…。大歓声が轟く中、本編が終わった様です。予想された通り…「暑いーっ！！」とみんな口々に言ってます。でも以上に元気！（笑）

アンコールにはいよいよHIDE登場。すぐにまたステージへと突撃（笑）して行きました。ガランとした楽屋にまたまた悲鳴とも歓声ともいえない様な物凄いファンの声が響いて来ます…。HIDE、PATA共にアンコールが終わった後しばしボーゼンとしていましたが、元気元気!!に東京ヤンキースの方々らと盛り上がりに出掛けたという事です…。

1月15日、雨が降っています。そんな寒い中、目黒・鹿鳴館へ足を運びました。「パワフル　フィーバー　ギグ」と題された今日のライブにはPATAが出演すると聞きつけたからです。この日は"目指せ！東京ドーム・バンド"というバンドのギタリストとしての参加です。この"目指せ！東京ドーム・バンド"のメンバーはというと、元リアクションのギタリストYASUさん、ボーカルがみなさんにもおなじみのビデオの後藤氏（ここではGOTと書かせてもらいます....）、ベースが東京YANKEESのAMIちゃん、ドラムがメディアユースのKOHICHIさんそして、PATAです。PATAは最近、東京YANKEESのツアーに同行し、飛び入りで演奏したりしているらしいです。

楽屋はいつもはスタジオとして使っているところになっています。その楽屋に入るとくつろぎきってる面々が.....PATAは楽屋の奥の方で寝転がっています。「カゼひいちゃって、だりぃ.....」とかなり調子が悪そうです。

楽屋の扉を開けて、AMIちゃんが入ってきました。

FC「おはようございます。」

AMI「おはよう。見て見て。」と今日の衣装を見せつけます。

FC「あれ？これって（衣装の白のシマ模様）ガムテープですか？」

AMI「そう（笑）。だって、こういう衣装がみつからないんだもん。」

FC「自分でやったんですか？」

PATA

AMI「そう、それもこれってHEATHくんの衣装借りたんだよ、いきなり。その借りた黒い服に一生懸命貼ったの（笑）。」

そういえば、昨日「誰か燕尾服、持ってないかなあ。」という電話が事務所にかかってきていました（笑）。

AMI「一応、ブラウスも借りたんだけどさ、着てみたら結構ピチピチだったから、リキんだりしたら破れちゃうと思ってさすがに着れないけどね（笑）。やっぱりHEATHくんって、細いよね。」

FC「でも、これだったら遠くからみたらガムテープだなんてわからないですよ。」

PATA「かなり、気合いいれてるもんな。」

AMIちゃんは、リアクションの曲をやるということでかなり緊張もしているようです。

「間違えたりするなよ。じっと、見てるからな（笑）。」と楽屋に遊びにきているYUKIさん（元リアクション）からの一言。

PATA「（笑）そんなこと言われて、すげープレッシャーになるんでしょ？」

AMI「そうだよ（笑）。YUKIさん、そんなこと言わないで下さいよ。ホントに緊張してんスから。」

そんな話をしていると、HEATHが楽屋に遊びにきました。

AMI「あっ、HEATHくん。衣装お借りしてます。」

HEATH「これって、あの衣装？ようやったなぁ。ガムテープで貼ったんやろ？」

とかなり感心している様子です。

そろそろ出番ですというときに、PATAはちょっとせき込んだりしています。大丈夫なんでしょうか。

YUKI「じゃ、上で見てちゃんとチェックしてるからな（笑）。」鹿鳴館は関係者が見る席が二階にあるのです。

PATA「何回間違ったか数えてるんでしょ？（笑）。」

AMI「やめてよ、PATAちゃん。」
HEATH「がんばってな（笑）。」
と楽屋の面々は会場の方に向かいました。

1曲目の［港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ］（テーマ曲だそうです）でメンバー紹介。間奏で「PATA、XのNEW ALBUMいつ出るの？」というGOTの質問にPATAは苦笑い.....。

今日の演奏曲は、KISSとリアクションの曲ばかり。PATAとYASUさんのツイン・ギターもGOOD。AMIちゃんも負けじと弾きまくっています。YUKIさんが見てるものね。場内もかなりの熱気につつまれ、すごいノリです。GOTのMCもなかなか聞いてもらえず、AMIちゃんが「おい！お前らちょっとだまれよ！」と叫ぶと、それが逆効果。「PATA、何とか言ってやって！」とAMIちゃんに言われ「いいから、ちょっと聞け。」とPATA。それでもあまり効果があらずで、GOTはそのまま進めてしまう一場面もありました。ライブも中盤に入り、ノリも最高潮に達しているようで鹿鳴館が揺れているように感じます。（あとで気づいた話ですが、この揺れは地震だったのです。どうりで、よく揺れると思った（笑）。）こんな感じのセッション・ライブって、等身大のミュージシャンが見ることが出来て嬉しくなったりしますよね。

ライブが終わり、楽屋に戻るとみんな疲れきって座り込んでます。

の手帖

「やっぱり、体力が続かない.....。」とはGOTの弁。
AMI「いやー。緊張したよ。ホントに。」
GOT［AMIちゃん全然上見なかったでしょう（笑）。」
AMI「見れるわけないっスよ（笑）。」
ホントに上を見ないAMIちゃんでした。
ステージでは元気だったPATAですが、楽屋に戻るとやっぱり調子わるそう。ギターケースを枕がわりにして、ボーッとしています。
FC「今日は早く帰った方がいいですね。」
PATA「ああ？うん。でもこれから飲みに行くんじゃねーの？」
カゼをひいているというのに、お酒の心配をするPATAなのでした。

PATA,BMGビクターとソロ契約！！

音楽雑誌等ですでに御存知の方もいらっしゃると思いますが、
PATAがソロ契約をしました。
Xの活動と同時に、ソロとしてのPATAの活動にも注目してくださいね。

PATAからのコメント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

がんばりま～す。
いつか出ると思うよ～。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

名古屋市・パラリンさん
（たくさんイラストありがとう♥）

HEATHの居酒屋日記

今月のゲスト・マニュピレーター　稲田和彦氏

今回はＨＥＡＴＨの居酒屋日記という事で、都内某店でインタビュー取材を行いました。本日のゲストは稲田和彦さんです。誰？なんて言ってはいけません。稲田さんはＸにとても重要な役割となるお仕事をなさっている方なんですよ…。

HEATH （以下Ｈ）：き、緊張するなぁ。（と、テレコをちょっと遠ざけるHEATH ）
ＦＣ（以下Ｆ）：あの…（笑）。
Ｈ：あ、「STAR FOX」（ファミコンのゲームソフトの名前）買った！
稲田さん（以下Ｉ）：買った!?いつ??
Ｈ：もう、昨日朝４時まで（笑）。
Ｉ：エー！！（笑）
―ここからいきなりファミコンのゲームの話になってしまい、大盛上がり（笑）――――
（「１面の最後まではいきたいよなぁ」「２面はちょっと難しい」「マリオカートは？」「150 cc のね…」「お、凄いなぁ」この様な会話がズーっと続いている）
Ｈ：俺、闘うやつか、走るやつか、そんなんばっかりや。頭使うやつは余り…（笑）。
Ｆ：それでは本題に入って宜しいでしょうか（笑）。２人の慣れ染めを教えて下さい（笑）。
Ｉ：初めて会ったのはね…スタジオ？
Ｈ：（うなずく）
Ｉ：あ、でもちゃんと話したのは…YOSHIKI トークライブの打上げで…かな？
Ｈ：そう。それでＬＡに行って…。
Ｉ：僕もずっと行ってたからね。
Ｆ：２人で良く行動したりしたんですか？
Ｈ：そう、ショッピング！
Ｉ：したねぇ！ショッピング！
Ｆ：それは何のショッピングだったんですか？洋服とか…？
Ｉ：っていうか、ショッピングセンターをいろいろ調べたりして、「ここは高級な人が来る所だ」とか…
Ｈ：行ってみても高級すぎて俺らなにも買えないんだけど（笑）。
Ｉ：それで、食事は「パンダエクスプレス」で。
Ｆ：え？パンダ？
Ｉ：セルフサービスなんだけど、食事出来る所が向こうのショッピングセンターには必ずあるんだよ。その名前が「パンダエクスプレス」
Ｈ：遊園地とかによくある囚人システムの（笑）
Ｉ：並んでお盆とか持って好きな物を取っていくという。まず最初に御飯か焼きソバかを選ぶの。
Ｆ：焼きソバ？
Ｈ：そう。でも絶対違うんだけど（笑）。
Ｉ：そうそうそう（笑）。もやしの細いのだったりして（笑）。
Ｈ：それで、ちゃんとオマケが付く！
Ｉ：そう！
Ｆ：オマケって…？
Ｈ、Ｉ：おみくじ!!（大笑）
Ｉ：でも、読めない！分らない！（笑）
Ｈ：そう！俺ら、２人で行動よくしたんだけど…２人とも英語が分らない！（笑）
Ｉ：ははははは－（笑）
Ｈ：それで「ショッピング行こう」とかって誘うから、イナちゃん英語しゃべれるもんやと思ったら、しゃべれないし（笑）。店とか行って、そこの人が「×××××××？」とか話かけてきたら「HEATH 、こいつなんか行ってるよ」だって（笑）。
Ｉ：この２人ならLAは怖いものナシ！（笑）あ、そうだ、HEATH はね、「ニセ・キチョッパー」だったんだよ（笑）
Ｈ：正体あばかれてしまった（笑）。
Ｉ：でも、LAで某スタッフの部屋なんか、ゴミ溜めみたいな部屋あったもんなぁ。
Ｈ：もう、ゴミなんだか服なんだかわからんようになってる。１回、その人の部屋に居た時、HOUSEKEEPER （お掃除の人）かなんかのオバチャンが来ちゃって、ドア開けた瞬間に「OH !NO!」（笑）
Ｈ：何であんなにショッピング行ったのかなぁ。
Ｉ：買物の時の品物の見方が一緒だからね。そうでない人と行ってもおもしろくないでしょ？あんまり物を良くみない人とか、すぐポンポン次へ行っちゃう人とか。
Ｈ：ダラダラ見てると思わせて、実は計画的、とか（笑）。あ、それから、１回ショッピングセンターでもの凄く緊張したのが、化粧品ばっかりのフロアーがあって…
Ｉ：あ、あったねぇ！！
Ｈ：ビシーっとキメた女の人がズラーって居て、そこ通らな駐車場に行かれへんねん（笑）。
Ｉ：２人でそこをとととととと ―― って（笑）
Ｆ：いいですねぇ、楽しそう。
Ｈ・Ｉ：楽しいよぉ（笑）。
Ｉ：そういえば、HEATH さ、朝５時位に起きてゲームやってたんだよ（笑）。寝るのは大体同じ位の筈なのに、俺は夕方まで寝ちゃうんだけど、HEATH は朝練とかやっちゃうんだよ、ゲームの（笑）。
Ｈ：買物行こう、とかいっても、俺はもう準備万端やねん。
Ｉ：俺が起きる迄、待ちくたびれちゃってんの。
Ｈ：あんま寝られへんねん。
Ｉ：快食、快眠？
Ｈ：コーラックいらず（爆笑）。
Ｆ：何ですか？それ（笑）。
Ｉ：良く食べるもんなー。
Ｈ：うん。凄い食べる。
Ｉ：妙に健康的だったもんね。
Ｈ：何か向こうに居る方が健康やね。
Ｉ：良く食べるし、良く歩く。
Ｈ：歩くよー。
Ｉ：買物なんか行ったら、向こうのショッピングセンターなんかでっかいから、最低２キロ３キロは軽く歩くよね。
Ｆ：音楽関係とかのお話はありますか？
Ｉ：そう、HEATH はね、LAでジャズに目覚めたんだよね。
Ｈ：そう。凄い人がいてね。ビデオ見せて貰ったんだけど…。
Ｉ：音楽鑑賞会を開きまして。夜になると。それで、俺がジャズが好きだからね。その人、もう人間的に凄いんだよ。楽器は持たない。リズムは手と胸でとって、一人ベース、一人ボーカル、みたいな感じ。の音を表すんだよ。ボビー・マクファーレンという人なんですが
Ｈ：そのライブビデオなんだけど、もう、人間が違うもん。
Ｉ：やらせっぽいんだけどねー。見に来てるお客も凄いの。
Ｈ：よくロック系のライブとかでやるけど、「それじゃ、こっちからこっち！イェー！こんどはこっち！イェー！」みたいな…。あれをやるんだよ（笑）。
Ｉ：もう、歌わせちゃうわけ。お客さんに。で、それにまた自分がハモったりして。
Ｆ：結構お年の方なんですか？
Ｉ：うん。オジサンだよね。
Ｈ：でも実は18歳位やったりして（笑）。俺らはひとりオヤジって呼んでるけど。
Ｉ：わはははは－（笑）。そう！ひとりオヤジ。

…でも、今度はね、アフリカの音楽を聞いてみようかと思ってるんだよね。やっぱり音楽の起源はアフリカだと思うんだけど…。

：あと、マーチングバンド。

そう、それも凄いビデオがある。見せてあげるよ。もう、超！凄い。

マーチングバンドって鼓笛隊の？

I：いや、もう、そんなレベルじゃない。120 人位ので…もう、芸術だよ。

H：あれ、大会とかあんねんな。

：あ、そう！もしかして見た！？

H 見た。

I：そうかぁ。あれね、演奏しながら人文字じゃないけど、音楽に合わせてどんどん編隊を変えていくの。キメのところとかでちゃんとパッと形が変わるんだよ。

：俺、あれ見てて発見したのが、テレビカメラの人が芝生と同じ色してるんだよ（笑）。モジモジ君おるやん（とんねるずさんのテレビを見ている方はわかります（笑））。あれの緑色のを着てんねん（爆笑）。

：わははは ‐（笑）。カメラマンの人が？

I：そう。

：でも、話戻るけど、黒人は違うよね。グルーヴが。

H そう。もう、CDとか聞いて、これは黒人！とかわかる様になってしまった。そこまでのレベルに俺らなっとるで（笑）。

俺もドラムをやっていた事があって、同じリズム隊としてグルーヴという物について語り合ってみたりして（笑）。

F：そう、稲田さんのお仕事を分り易く教えて下さい。

H：笑いの伝導師（笑）。

I：そう（笑）。まず、音楽業界のレコーディングシステムを把握してないと分り難いかもしれない。簡単に言うと…そうだなぁ…Xが曲を作っていく上でのお手伝いですね。例えば演奏する部分をコンピューターに入力してみたり。それを聞いてみて、変えたい部分は少しづつメンバーが自身が手を加えていって、順々に曲が出来上がっていく。…まぁ、それは第２の仕事で、本業は…

H：笑いの伝導師（笑）。

I：そうそう（笑）。

F：キーボードとかは？

I：いや、コンピューターに入力するだけで音は出せるんですよ。譜面を入れたりして。…で

H：作曲家でもあるんだよ。名曲 ‐杯持ってるからねー。

I：「ジジイの歌」とかね（笑）。

F：は？

H：脳裏に焼付いてもうて。「ジジイ、ジジイ」って（笑）。

F：？？？？？？（笑）

I：謎の最強バンドっていうのもあったね。「THE SUGURU」っていう。

（SUGURUというのはLAのスタッフの名前らしい）

H：俺がギターで、TOSHI 君がキーボードで、…SUGURUっていう人は…何やってたっけ？

I：えーと、何だっけ？ボーカル？

H：あっ！パーカッションだ（笑）。

I：史上最強なんです。

H：エクスタシーサミットに出たりして。

F：（笑）…。

本当に楽しいお話でした。笑いのテンポが合うのでしょうか、取材テープには２人の笑い声がたくさん入っていたのでした（笑）。（特に稲田さんは笑いじょうごなのでしょうか、笑いっぱなしでした）HEATH の取材も対談、という形では初めてだったのですが、さすが、ツッコミのタイミングがすごくて、明るい取材となりました。この雰囲気、伝わったでしょうか？これからもこんな楽しい対談をまた企画したいと思いますが、いかがでしょう？稲田さん、御協力ありがとうございました！HEATH もお疲れ様でした！また宜しくお願いします（笑）!!

稲田和彦氏

今月のよっちゃん

10/31 EXTASY SUMMIT in BUDOKAN　楽屋前のホールにて　その1.

10/31 EXTASY SUMMIT in BUDOKAN　楽屋前のホールにて　その2.

10/31 EXTASY SUMMIT in BUDOKAN 楽屋前のホールにて その3

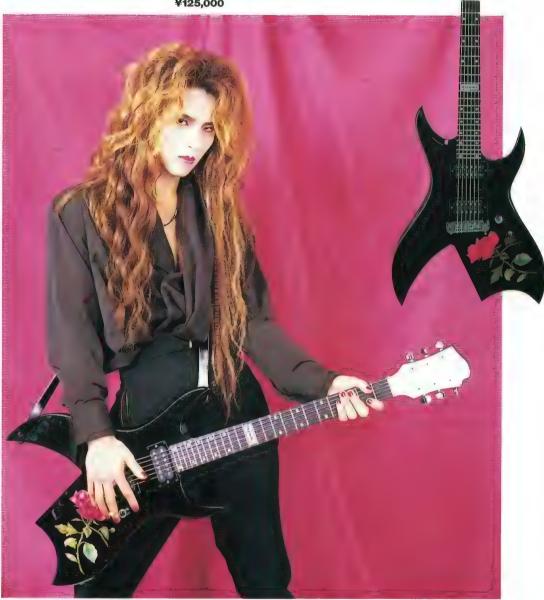
10/31 EXTASY SUMMIT in BUDIKAN
このギターがＹＯＳＨＩＫＩモデルだ！　その1

10/31 EXTASY SUMMIT in BUDOKAN
このギターがＹＯＳＨＩＫＩモデルだ！　その２．

12/31 NHK紅白歌合戦　エレベーター前にて

12/31 ＮＨＫ紅白歌合戦　エレベーターの中のよっちゃん

12/31 ＮＨＫ紅白歌合戦 舞台に向かうよっちゃん

12/27 「タモリの音楽ステーション」収録日　楽屋にて

Mr.INOKUCHI

東芝EMI YOSHIKI DIRECTER

今回は、4/21に発売となります「YOSHIKI presents～Eternal Melody～永遠へのメロディー～」のディレクションをした、東芝EMIの井ノ口弘彦さんにインタビューをしてきました。

FC（以下／F）：まず、井ノ口さんのお仕事について簡単に教えて頂けますでしょうか？

井ノ口氏（以下／I）：肩書きは「プロデューサー」という事になるんですが、レコーディングに入るとプロデューサーはYOSHIKIになりますので、僕はディレクターとしてYOSHIKIの仕事をヘルプする、というのがメインになってきます。YOSHIKIはアーティストでありプロデューサーであり、ミュージシャンである…といろいろな面を持っているんですが、すべてにおいて彼の仕事がスムーズにいく様にするんです。スタジオの手配とか、ミュージシャンを決める時などに僕の方からアイデアを出して、たとえば今回のクラシックに関しても、YOSHIKIの方に企画があって、どのオーケストラを使うっていう段階になったら「こんなオーケストラがあるんだけど」って資料を揃えたりするんですよ。YOSHIKIもそういう知識はあるし、勉強もしてますから。僕もいろいろ勉強しました。

F：YOSHIKIと出会ったのはいつ頃、どの様な感じだったんでしょうか？

I：去年の２月位ですか…知人の紹介で会って。思いっ切り飲みましたけどね（笑）

F：最初にYOSHIKIに会った時の印象は…？

I：もう、カリスマがあるというか…。天才性っていうんでしょうか。例えば、会った場所で彼が来た時に、ホントに空気が変わるんです。それから、もの凄くいろんな事に気を使う人だなと思いました。会った時にいろんな話をしましたね…。音楽の話もしたし、映画の話もしましたね。ヴィスコンティという監督のルードリッヒ２世っていう王様の話を取り扱っている映画があるんですよ。とにかく美を追及した人なんですよ。ワグナーっていう作曲家がいますよね？彼はワグナーのパトロン（芸術家に対してお金を出す）だったんですよ。ワグナーが、人が死ぬ所が見たいって王様に言うと、その王様が自分の宴会場にいろいろな芸術家とか、その地域の名主とかを集めて、１段高い所に王様とワグナーが居るんです。そこで、王様がワグナーに「人が美しく死ぬ所を見せてあげる」と言ってその宴会場を全部バラの花で埋め尽くすんです。最初は気が付かないんだけど、どんどんバラの花で人々が埋まっていって全員窒息死するという…。美の為に徹底的にやってしまうという所が、彼の完全主義に自分の中ではオーバーラップしたので、その話をしたんですけれど…。でもある意味でこの話は冷淡…ですよね？YOSHIKIはとても人に気を使ったり、親分的な優しさを持ってたりすると思うんです。芸術家として美しい物を求めていくいく所とか、懐の深い所、とかっていうのを特に彼には感じました。そこでもう、彼の手伝いをさせてもらえるのなら、この仕事をやっていてよかったな、とまで思えましたね…。僕は他にもいくつかアーティストを担当してまして、僕がある程度コントロールしてやっていくものもあるんですが、彼の場合は彼の中に確立したものがあるので、それをヘルプしていく…という感じです。

F：今回のクラシックアルバムのレコーディングでは、ロンドンにYOSHIKIと共に滞在されていたと思うんですが、その時のお話を少し聞かせて頂けますか？

I：毎日朝10:30からレコーディングだったんですが、彼は１度も遅刻せずに来て…オーケストラのレコーディングって朝早いんですよ。それで夕方できっちり終わるんです。

F：スタジオはどんな所だったのですか？

I：ビックリしますよ。19世紀の修道院のホールを改装したスタジオで、300畳位あるんですよ。円形になっていて、回りの壁は全部ステンドグラス。そこから自然の光が入るようになっているんです。天井が15メートル位あって、いわゆるドームみたいになっていて、凄くきれいなんです。ロンドンの北、いわゆる高級住宅街と呼ばれている所にあって、庭の広い住宅がたくさんある。緑が多くて…だから、もうYOSHIKIは似合うんですよね。ヨーロッパが。スタジオもYOSHIKIの為に作られたスタジオだと思った位です。

F：そこにオーケストラの方が集まってきて…。それで、個々が楽器を持って、音を出し始めて…コンダクターが来たらバーンと始めて。

F：音はもちろん、普通のスタジオとは全然違うんでしょうね。

I：あ、もう全然違います。それで時間が１セッション３時間って決まっているんですよ。だから10:30から３時間やって、お昼休憩して、再び３時間やってその日は終わり。大体６時位には終わっていました。

F：それから夕食を食べに行ったり、何か見にいったりするんでしょうね。

I：そうですね…ロンドンは食事がいまいち、と良く言いますけど、いろいろな人種が集まって来ているのか、食べ物もいろいろあるんですよ。タイレストランとか、インド料理、中華料理とか…YOSHIKIとは行ってない…かな？

F：コンサートなどは御覧になりましたか？

I：秋にYOSHIKIと打合わせにロンドンに行った時に、ロンドンフィルのコンサートに行ったんですよ。YOSHIKIも凄く良かったと言ってましたが本当にストリングスが凄く良くて。

F：今回はGEORGE MARTINさんもPRODUCERとして迎えられていますが…

I：そうですね。GLORGL MARTINといえばビートルズですよね。彼は日本のミュージシャンとは仕事しなかったんですが、YOSHIKIとYOSHIKIのメロディーラインにとても興味を持ってくれましてすぐにＯＫがでたんです。YOSHIKIのメロディーっていうのは、彼（GFORGF MARTIN)にとって東洋的に感じる部分もあるし、西洋的に感じる部分もあるし、クラシックの要素もあるし、ロックの要素もある。そして、メロディーラインがとても美しい。いろいろな意味でとても可能性を持ったメロディーだ…という事なんですよね。彼は今までいろいろな音楽家とやってきたわけですが、みんな強く自分をアピールするらしいんですよ。でも、YOSHIKIはすごく「SHY」で、そこがとてもGLNILYだった。だから自分もスッとYOSHIKIに入っていけたという事は言ってました。ロンドン・フィルの方々は、曲に対してもカリスマがあると感じた、という事で…フッと聴き込んでしまう曲だ、と。それで、それを自分達が演奏出来るっていうのは光栄な事だし、楽しいと言ってましたね。…だから、YOSHIKIが言っていた、音楽には年齢も、国境も、ジャンルも関係ないんだっていう事が証明出来たんじゃないかなって思うんです。ですから今回は若いやつにしか分らないとか、こういうジャンルだから…というのは全く取り除いて、全員が同じ方向を向いているという事でも、凄く良いアルバムだと思いますよ。それでね、新曲がもの凄く良い！GLORGL MARTINも、この曲が映画にでも使われたりしたら絶対アカデミー賞とるよ！って言ってくれたんです。（GFORGF MARTINはなんと「００７」などの映画音楽も手掛けている）そして、今回のアルバムではね、これがみなさんのクラシックへの入口になってくれたらいい事だと思うし、例えばここではロンドンフィルが演奏してますよね？それで、それじゃ今度はロンドンフィルの演奏している他のアルバムを聴いてみよう、とか…。本当に素晴らしい音楽がたくさんあるけど、聴き逃してしまっている物もたくさんあるんだという事をわかってもらって…それからYOSHIKIメロディーっていうのもあると思うんで、そこの醍醐味っていうのも知ってもらえれば良いと思います。

F：このアルバムはまだまだ序章[illegible]でしょうか？

I：そうですね。まだ１歩踏み出して歩いているというカンジですし、YOSHIKIが１歩動けば…YOSHIKIの人を巻き込んでゆく力というのは凄いですから…。それだけ魅力がある、という事なんですよ。作品に関してもそうだし、人間的な部分にしてもそうだし、僕も10年こ

の仕事をしていますが、本当に光栄だと思ってます。

F：ここで、ちょっと井ノ口さんのお話も聞かせて頂きたいんですが…？

I：え（笑）…。GEORGE MARTIN という人は、実は僕がこの仕事を始めるきっかけになった人なんです。彼が書いた本で「耳こそすべて」というのがあるんですが（河出書房より文庫本で出版されています）大学に通っている時にこれを読みまして…。演劇の勉強をしていたんですがこの本が転機になりまして…僕が22歳の時かな？だからある意味で、14年経って、今回GEORGE MARTIN と仕事ができるというのは、僕にとって夢がかなったという事なんですよ。…ですから、この本、みなさんにも読んでもらえたらなって思います。今回のアルバムの裏の深さもわかってもらえるかもしれないですし…。彼（GEORGE MARTIN)ね、67歳なんですよ。勇気わきますよ（笑）。僕は今36歳なんですけど、ちょっと最近疲れてきたかな…なんて思ってたんですが（笑）彼は現役のバリバリで。凄いですよ、本当に。それからね、23~24歳の時に、RCサクセションというバンドのローディーになりまして。きつかったですよ（笑）。何回もやめようと思った（笑）トラックで移動してね…。そこから現在の様な仕事を段々始めていきまして。考えたら中・高校生の時から音楽漬けでしたね。ロック漬け。バンドもやったし…。

F：井ノ口さんがそのロック・音楽漬けだった頃の年頃って、悩み多かったりするんですよね。よくファンクラブにもお手紙が寄せられるんです。

I：僕は36になった今でもいろんな事で悩んだりしてますよ。それですべてが決まるわけではないと思いますし…とにかく、夢は持っていて欲しいです。かなえようとすればかないますよ。夢は。たくさんの人と出会って、自分の人生を本当に楽しめればいいと思います。悩む事のなかに必ず自分が居るんですから。大いに悩んでいいと思いますよ。

F：YOSHIKIについてもう少しお話しを聞かせて下さい。

I：日本のミュージシャンの中に「音楽家」っていないでしょ？YOSHIKI は「音楽家」の部分を凄く持っていると思うんですよ…。それとみなさん側から見たとして、例えば男の子から見ればカリスマだったり、女の子から見ればアイドル…アイドルといっても、一般的に言うアイドルではなくて…もう本当に「スター」というか。ただ、誰にも成しえない部分で言ったらやはり「音楽家」と言われて然りといった所だと思います。もうすべてに於いてぶっちぎりでしょうね。YOSHIKI は、あと完璧を目指すでしょう？そこがまたみんながついてゆく所だったり…本当に素晴らしいですよ。彼は英語も凄く上手いですし、勉強熱心です。…大体人ってここまででいいやってあるじゃないですか。例えば試験を受けてても、80点が合格点だとして、自分で90点以上出来てるなって分ったらここまででいいやって思う時ってあるでしょ？そうじゃなくて、それなら100 点から120 点とろうと思うっていうか。試験というのはあくまでも例で、YOSHIKI にとって、これからの人生とか、未来の夢の事…すべてに於いてそうなんでしょうね。本当に凄いです。

F：そうなんですか…。今回は[illegible]、本当にありがとうございました。

I：おもしろい話を最後に1つ…。昔、新聞に新しいブラックホールが発見されたっていう話が載っていて…ブラックホールって知ってます？いろんな物を吸い込んでしまうという…。その奥に、「X」っていう光が見えたそうなんですよ。そう、やっぱりブラックホールだと思います。もの凄く力のある、ね。

大変お忙しい方なのですが、快くインタビューにも応じて下さいまして、本当にありがとうございました。67歳のGEORGE MARTIN よりもっと、80歳90歳まで頑張って下さいっ（笑）！
そして、みなさんもこのアルバム、楽しみにしていて下さいね！（私も早く聴きたい…）

EXCITING VIDEO SHOOTING R

今日は我等がHIDEと、みなさんも御存知…ZI:KILL のTUSKさんとの写真＆ビデオ撮影が都内で行われるという事で出掛けてまいりました。柔らかな陽射しの中、ロケ地の某公園に到着すると、いたいた。…と？用意されたカンオケには、まだHIDEとTUSKさんは入棺して（？）おりませんでした…。遠くにはエキストラの方々。黒い布を各自が持って、なにやらやっております。…そうこうしている内に、HIDE＆TUSKさん到着。HIDEはキレイな巻き毛をなびかせて、さっそうと歩いてきました。（今日は特に“巻き”が入っててイイカンジ…）れ？れれれれー?!なんか、顔がいつもと違－う!!ま、ま、まゆ毛がぁ…。

HIDE「マレーネ・ディートリッヒみたいでしょ？❤❤」（マレーネ・ディートリッヒとは、昔の映画女優さんです。調べてみると何故HIDEがこう言ったかが良くわかるハズ）

昨日もHIDEはスタジオでの撮影が朝までで、30分位しか寝ていないとの事。…その反動でカラ元気なのでしょうか？…Xスタッフの姿を見付けると

HIDE「あらー、久し振りじゃないー❤（笑）」

と…何故か手つきが…？物腰も心無しか柔らかなHIDEちゃんでありました（笑）。…

歩道橋の上に撮影隊がスタンバイします。メガホンを持ったスタッフの合図で、黒い布に身をまとった不気味な（ゴメンナサイ）エキストラがゾロゾロと集まって来ます。数回のリハ　サルの後、まず、TUSKさんが入棺。続いてHIDE入棺。下からだとよく見えないので、FCも歩道橋の上へ上がってみます。おお　、目を閉じて、まるで本当に永遠の眠りについてしまったかの様な２人。…その回りには黒い人、人、人…。撮影がスタート。歩道橋の上を通りかかる通行人の方々も「何だ何だ」と覗き込んだりします。下に降りると、そこにも通行人の方が。「人文字かなぁー？」違いますって（笑）。合図で黒いエキストラがヌーっと手を上げたり、下げたり…。HIDE、寝ちゃってるんじゃないだろうか…。しかし、寒い。陽が差してるとはいえ、しんしんと底冷えします。

スタッフ「カンオケの中にホカロンが必要だったな…」

さて、次のロケ地はなんと都心の交差点。人の行き来も普段からとても多い所です。大丈夫なのかな…。陽も暮れてきてしまいそうだし、急がなくては…とスタッフもちょっとあせり気味。大きなロケバスを交差点脇の路地にとめて（なんとこのバスにはメイクルームも付いている!!）とりあえずカンオケを運び出します。またもゾロゾロ…と集り始めるエキストラの方々…。道ゆく人々が「何…？」といった顔付きでこの集団を見過ごてゆきます。スタンバイＯＫの合図で、バスに待機していたHIDEとTUSKさんが降りてきます。ささっとカンオケの中へ。行きかう人混みの中でメイクの手直しをします。カメラをかまえると、HIDEちゃんビックリ顔を作ってくれました（笑）。通りがかったどこかのオバサマ、「何？これドラキュラの宣伝か何かなの？」と尋ねられ「いえ、違います…」と答える事しか出来ないＦＣ…。だって何て説明すれば良いの（笑）？黒服のエキストラさんがカンオケを持ち上げると、モタモタしてはいられません。撮影の始まりです。交差点の向こう側に向かって集団は移動して行きます。スタッフが映ってしまってはまずいので、すぐ脇のデパートのロビーへ入り、中から外の様子を伺います。

さすがに不思議な表情でそれらを見る通行人…１回降ろすと…HIDE、寒そう…。それは都会の真ただ中。雑踏にもまれて、国籍不明の２人の葬儀…ゆっくりと陽が沈んでゆきます。こんなシュルな情景が映像になるなんて…。

あのカンオケ・ロケから数日後。今日も天気が良好な朝８時。Ｍ１号は新宿におります。今度は郊外のスタジオでビデオ撮影の続き、という事で現場へ向かいます。電車で１時間30分。駅に到着し、スタッフに迎えに来てもらい…最初の撮影場所へ。ロケバスが止まっているのが見えます。たくさんのスタッフが準備をしている…あ、車の前に居るHIDEを発見！すっかりメイクも整い（朝早くから準備してたんでしょうね…でも早起きHIDEちゃんだから大丈夫!?）見ると、なんとマンガを読んでいるじゃないですか。何だかこんな風景、珍しいような気がする…。今日は女優さんも含めた撮影です（お仕事なんだからやかない、やかない）。女優さんは先にちょっと離れた場所でスタンバイしているので、その女優さんの代りをメイクさんにやってもらって、軽く立ち回りのリハーサル。なんだかつかんでひきずったりしていますが…こんな事するんでしょうか？その内、ロケバスから出てきたTUSKさんも含めて、更にひきずったり倒したり…。なんだか怖い撮影になりそうです。おっと、女優さん役のメイクさんのポケットからスプレ　がコロコロ…（笑）。HIDEの撮影時にはメイクさんも体を張らなくてはなりません（笑）。（ちなみにこのメイクさんは男の方）それが終わると、TUSKさんは外の光の中でメイク直し…ちょっと無口で言葉少なのTUSKさんです。指をバキバキバキ ――― ッと鳴らすHIDE。こちらはなんだかちょっと落着かない様子。それを見たスタッフがすかさず、

「TUSK君は集中してるみたいですよォ」と言うと

HIDE「俺は瞬間の美学だからな。神経を持続できねーんだよっ（笑）」

…とはいってもHIDEの撮影時の集中力をまざまざと見てしまう撮影になる、という事が後でわかるのですが…。

いよいよ撮影開始です。現場まで30秒位歩くと白い建物の階段が。そこを２人が駆け上がって、とあるシーンが撮影されるのですが…そこは私達の居る場所からは見えないのです（カメラに入ってしまう為）。現場の目の前には畑が広がっています。天気が良い…。ちらっと辺りを見回してみるHIDE。スタッフらも緊張感からか無口です。

し ―――――― ん…。……

くるっとスタッフらの方を向き直ったHIDE…

「今日なんか静かじゃな ―― い？」とニヤリ…

それでもスタッフはし ――――――――― ん…。

HIDE「何かしゃべれよォ ――――― ッ」（笑）

いつもの写真撮影の時とはちょっと違うHIDEちゃんでありました。

スタッフ「緊張してるのかな…」

階段の下で２人がいよいよスタンバイ。スタッフの「本番いきます！」の大きな声が響くと、空気に更なる緊張感が走ります。階段の先をじっと見つめるHIDEとTUSKさん…。「スタート!!」バタバタバタ!!!!と駆け上がります。聞こえてくる音だけでも凄い迫力！ザザザザザ ――― !!ダダダダ ――!!なんて音が響いて来ます…。かたずをのんで階段の上方を見上げるスタッフ…。「ハイ!!」のスタッフの合図で２人が戻って来ました。どうやらうまくいった様です。あぁ…どんなシーンなのか早く見たい…。

さて、次の撮影現場はここからすぐの所です。到着してビックリ！英国技師の方が設計したという（でも建てたのは日本人の方との事）一軒家風撮影スタジオです。外観もステキ。回りの日本家屋とは全くミスマッチ（笑）。靴を脱いでスリッパを履いて中へ入ると、これまた凄い。家具や照明・置物に至るまで、まるで異次元空間に来てしまったかの様。…シャワーなどもあって、すぐにでも生活出来そうなのに、生活感が無いのも不思議な感じです（何故ならここはスタジオなので当然、普段は人は住んでいない）。白いらせん階段を上がった２階にメイクルームがあります。ここも１つの広い部屋の様になっていて、壁紙は花柄。ステンドグラスの入った窓を開けると、そこは陽のさすテラス…。あぁ、こんな家に住めたらなぁ…とボーッとしていると、窓際に置かれた長テーブルの前に座ったHIDE「たすたす（TUSKさんの事らしい（笑））は？」来ました来ました。入って正面にあったステンドグラスの大きな窓にとととととと…と近寄っていったHIDEはステンドグラスをじっと眺めています。TUSKさんはその窓を開けようとカギをいじっています。窓が開けられると、ちょっとひんやりとした心地良い風が部屋中にゆっくりと吹込んできます。その内、このスタジオで撮るシーンの打合わせが始まります。みなさんにもおなじみ、いつもカッコイイHIDEちゃんをPRODUCE して頂いている亀山哲也氏（今回のビデオも監督していらっしゃいます）も含めて、また軽いリハーサル。今回の女優役はHIDEに付いているＫくんに白羽の矢が立てられました（笑）。

TUSKさん「え、ちょっとまって、暴れた時にこっちへ行って…」

HIDE「バーンと行って、…」

TUSKさん「下へいく！」

HIDE「…（ニコニコとうれしそう（笑））」

TUSKさん「あ…でもこうした方がいいかなぁー」

HIDE「“たすたす”は懲役５年で、俺は３年かなぁ。…ビデオ見てる子の顔が浮かぶなぁ…TUSK様ぁっ!!とかいって（笑）」

TUSKさん「（笑）」

う・ん…どんなシーンを撮るんだろう…?!HIDEの前の長机の上に置いてあったLADIES ROOM のＣＤを手に取って見たりしていたTUSKさんは、その内カバンを枕にしてスタジオの隅で眠ってしまいました。その静かなメイクルームの中、開けられた窓際でボーッとHIDEはＣＤを聴いています（そう

EPORT Hide with Tusk (ZI:KILL)

えばHIDEはいつでもどこでも必ずといっていい、CDラジカセを持ち歩いている）。MAD さんのCDらしいです。HIDEの足がトントとノッています。…と、窓からの風で、机の上の紙コップがバラバラバラーっと落ちてしまいま。

「あーあーあーあーあーあー（笑）」

スタッフがかき集めていると、TUSKさんがむっくと起きてきて、「…聴いて下さいョ」とカセットテープをかけました。

「わはははは」

「凄いでしょ？」

これはなんと、この時レコーディング中だった、の新曲でした。曲をじっと聴いていたは、テープが終わると「かーっこいいじゃー」と、絶賛。ニコッとするTUSKさん。…

しばらくして、 バネッサ・パラディのCDが流れる中、メイクを直します。メロディーを口笛てるHIDE。家で聞きまくっているんでしょうね

バネッサさんについては「今月の１枚」のコーを読んで頂ければわかりますが、HIDEの片思い（？）のお相手で、フランスの歌手の方なのです。みなさんも是非聞いてみてはいかがでしょう。さていよいよ撮影に入ります。…階下のダイニングルームに居たM１号、ある撮影スタッフの方がお弁当を食べようとしているのを見ていたのですが「２人入りまーす!!」の声で、その方は１口食べただけですぐフタをして現場へ飛んでいってしまいました。本当に撮影は大変なんです。確かに、みんな食事よりシーンの打合わせ等に一生懸命という感じです。そういえば私もこの雰囲気の中、食事するのを忘れてました。見るものすべてが面白くて、それ所では無いのです。…

すっかりセットの出来上がっている広い板張りのフロアー。真紅の照明が薄気味悪く光っています。正面には十字架が。緊張の面持ちでHIDEとさんを見守るスタッフ…。さっきのHIDEはどこへやら…表情がきつく、真剣になります。もちろんTUSKさんも同じく…。

スタッフ「HIDEさん、集中してきましたよ…」

女優さんのスタンバイも出来た様です。

スタッフ「本番いきます！」…

撮影内容はハッキリと描写は出来ませんが、みんなが見たらかなり衝撃的なシーンがたくさんあります！「はい、本番！用意…スタート！」のかけ声で音楽（このビデオのサウンドトラックとしてHIDEが制作したもの）が鳴り出し…「はい、OK！」の声。音楽が止む。バタバタとスタッフのスリッパの音がフロアーに響く…。この繰り返しです。「とりあえずメイク直しを」の声で、暗いフロアーから明るい階段の踊り場へ行くと…

TUSKさん「うわ、まぶしいっ」

メイク室へ戻るTUSKさんの後ろをついて階段を上りかけたHIDE…ところが…

スタッフ「HIDEちゃんは出番!!」

HIDE「ほ、ほーい…。」（笑）

ガンバレ！HIDEちゃん!!

ビデオの撮影といっても、クレーンはあるわ、スタジオ自体も凝ってるわ、セットは凄いわ、でまるで映画の撮影ってこんな感じなんだろうなと考えてしまいます。スタッフの人数も写真撮影とは違い、格段に多い。そして男の人ばかり…。男の世界なんだなぁ、とつくづく感じてしまうのでした。

メイクルームへやっと戻って来れたHIDE。何やらTUSKさんと雑談。TUSKさんが家から持ってきたという「つぶつぶいちごポッキー」を２人で分けて食べたり…なんて可愛い２人なんでしょう（笑）。先程の白熱した衝撃シーンの撮影時がウソの様です（笑）。そして私の隣ではなんと、あのROCK'N'ROLL ライター、大島暁美先生がメモをとっていらっしゃいます。あぁ…恐れおおい…。

HIDEはしばらくすると

「"いちご" ちょうだい」

とポッキーをぱくぱく。髪の色もピンク色で、いちごポッキーがとても良く似合ってしまいます。女優さんが「２人共（HIDEとTUSKさん）とても気を使って頂いている様で…」と言っていたとスタッフから聞いて（女優さんは控室が別でした）

HIDE「どこがだ ―――― っ（笑）」

と叫んでいます（笑）。また隅で眠りに入っていたTUSKさんは、スタッフがメイクルームへやって来て打合わせを始めると、誰も起こさなくてもフッと起きてちゃんと話に加わっています。話を聞いていると、次も大変なシーンの様です…。

TUSKさんの衣装直しが始まり、スタイリストさんがあれこれやっているのをHIDEはじっ…と見ていましたが…その内…あッ!!眠りに入ってる!!（笑）か、固まってる…。そう、HIDEちゃんは眠ると固まってしまうのでした（笑）。ガチャッとドアを開けて入ってきた撮影スタッフの「行きます！」の大きな声。スタンバイの出来ているTUSKさんが部屋を出て行こうしますが…まだ固まったままのHIDE…。TUSKさんはHIDEを覗き込んで、小声で「HIDEさん…行きます…か？…」。すると、パッと目を開けて小さくうなずいて立上がるHIDE。ちょっとお疲れ気味…？でもそんなのものともせず現場へ向かいます。えーん、頑張って下さい！。

次のシーンでは衣装が黒から白にチェンジです。そうそう、書き忘れていましたが、今回の衣装は黒のラバー（薄いゴムの様な素材）と黒のワンピース風の重ね着でカッコイイ。白い衣装になるとかなりイメージが変わる…。素材もぜんぜん違います。

スタッフ「あ、６時半だ」

HIDE「へ？まだそんな時間なの？」

スタッフ「今日は特に密度が濃いねー」

本当にこのスタジオに居ると時間の感覚を忘れてしまいます。…女優さんの入るシーンが終了。スタッフらから拍手がわき起こります。各々が頭を下げ合って、さぁ、ここからはHIDEとTUSKさんの２人だけのショットをめいっぱい撮ります。…

ホールの階段に座ってセットチェンジが終わるのを待つ２人。TUSKさんはやっぱり眠ってしまい、HIDEは動いているスタッフの模様をじっと微動だにせず見ています。…「スタンバイお願いしまーす！」の声でいよいよ撮影再開。スタジオはまた静寂に包まれます。…TUSKさんのアップを撮る、との事で、HIDEはメイクルームで待機。スタッフの買って来たお菓子をポリ…。そういえば何も食べていないのではないでしょうか？ここで話題の「ハイハイン」。４、５ヶ月の赤ちゃん用ソフトおせんべいなのですが、それを「おいしい!!」とバリバリ食べるHIDE…。その内、メモに似顔絵を書き始めます。モデルはマネージャー。これがもの凄い絵で…掲載はとても出来ません。（本人の名誉の為にも？（笑））

スタッフ「HIDEちゃん、美術の成績良かったでしょう？」

HIDE「うーん、良かったには良かったかもしれないけど…必ずモデルに怒られた（笑）」

大盛上がりした後は、撮影の続きです。う…フロアーにすごい匂いが!!お香でしょうか…？いえ、違います。線香でした。何故、線香を使うかというと、スモークの代わりとの事。実際撮影などでよく使われるスモークよりも、効果がキレイなんだそうです。…天井から下がる大きなシャンデリアのローソク１本１本に火がつけられます。もうもの凄くキレイ…。

スタート！の声で階段を２人がゆっくりと降りてきます。あぁ…でも…目が いたい――！

何事も無いかの様に撮影は進みます。みんな痛くないのかなぁ…。

次は「血ノリ仕込みの黒（衣装）」との事ですが、長かった本日の撮影、ラストのカットです。やはりここでも映像の内容は明かしません。…イジワルと思わないでネ。ビデオでちゃんと見て欲しい、というのがスタッフも含めてみんなの願いなのです。本当に凄いビデオだから…。

さて、怒涛のシーンが撮り終わり、スタッフの大拍手に迎えられ、HIDEとTUSKさんはメイク落としにかかります。血ノリが顔中についてしまっていて、苦しそうなHIDE…「うー、ゲホゲホ」…。目も痛そう…。うがいなどしても、なにかスッキリしなさそう…。そこですかさずTUSKさん。

「HIDEさん、アメ食べます？」

TUSKさんて用意がいいんだなぁ、と感心してしまいました。取り出したるは、カンに入ったドロップでした。しかし、HIDEは手もドロドロだった為HIDEがTUSKさんに「あーん」して、食べさせてもらっておりました。

もう、後半に入ったこのビデオ撮影。さて、どんなSHOCK があなたを待ち受けているのでしょうか？…。

☆このビデオは'93 年６月～７月に約４０分位の１作品として発表予定です。発売元・値段等は一切未定で、詳しい事は決定次第ファンクラブでもお知らせ出来ると思います。これは見ないと損!!楽しみにお待ち下さいネ!!

そんなこんなで撮影終了は午前２時。そして…スタッフを乗せたロケバスは高速にのった途端、眠りの静寂に包まれるのでした。（みんな半分気を失ってしまった様だった…（笑））

明日のロケも早朝からです。ガンバレ！HIDEちゃん！TUSKさん！

松本氏今月の1枚

カリフォルニアの青いHIDE in Japan

遅ればせながら明けましておめでとさん。御元気ですか？
たくさんの年賀状をありがとさん、でした。

何だかんだで、Extacy Summit 、紅白、…と結構日本に居るという…。
しかしなんだ、いいね、日本は…やっぱり。朝まで…いや、昼まで飲んでても、
だぁれも何んにも言いやしないし、店も次から次へと渡り歩けるし。
前回のこのコーナーとは打って変わって体ヘトヘト私ニコニコなんですわ。
そんな訳でメンバーとは紅白で集まったきり…。
HEATH ・PATAは、たまに飲み屋のテーブルで「ほよっ」と見かけるけど…。
「姫」とは3ヶ月位会ってないなぁ。LONDONでRecording してたって言うのは何かの雑誌で見かけたけど、最近の情報量は、君らとあんまり変わんないなぁ。
TOSHI 君とは、つい先日、彼のソロ・コンサートで久し振りに会いました。
俺もHEATH ・PATAと一緒に2曲だけ参加したんだけど、いやぁ、楽しかったわ。
あの人はメイクしなくても、髪立てなくても、ステージに立つと威風一緒なのね。
最初ステージ上で見た時、違和感有ったけど、「お前らぁーっ」ってやられると
とにかく気合い入るよね。エンギもんだな、あれは。
あの日、NIGHT HAWKS （ナイト・ホークス）っていうバンド…
TOSHI くんのBack Up をしてくれたんだけど…俺、Stage 上に女の人が一緒に居たのって
初めてなのね（東海林のり子さんは居たけど）。
なんか、からもうとすると、ど一も照れちゃうのよね。客席で裸になっちゃう女の子とか
見ても、喜んじゃうだけで…平気なのになぁ。
大抵の事ではStage 上ではビビんないけど、あれは新鮮だったな。
NIGHT HAWKS はguitarのちえさんという女の人と（女の人とあなどってはいけない。
彼女はめちゃめちゃうまい）青木さんという男の人でtwin guitar なんだけど…
大きい!!でかいのは東京YANKEES で慣れてるつもりだったけど…一緒にコーラスやろうと
思ってマイクに行ったら、飛び上がっても届かなくて…マイクは、はるか空のかなたにあったという…。ど一も大きい人の背中を見ると、おぶさりたくなるのね、俺。
それで青木さんにも飛び乗ろうとしたんだけど、とても頂上まで登れなかった。あれは心残りだったな。山は思った以上に高かった。
そのTOSHI くんのコンサートで黄金のロックメドレーのコーナーっていうのがあってね
もうPATAとか俺とか狂喜する様な曲が37曲ノンストップで飛び出して来るという…
これはリハーサルで初めて聴いた時、PATAと2人でビビったなぁ…。で、このメドレーは
「37KARAT/THE WHOOZE」というCDになっていて、NIGHT HAWKS が演っているんだけど、
これが超かっこいいんだわ！あれ以来、毎日車でかけまくってるんだわ。さて君は何曲知ってる曲があるでしょう？俺とPATAと洋楽の趣味が一緒な人は これ聴いた方がいいよぉ
面白いよぉ。
CDで思い出した。最近私は恋をしてしまった。久々に女の人に憧れを抱いてしまった
その人は…「Vanesssa Paradis」。フランス人の歌手なんだけど、もうなんて美しい声…
美しいという形容詞と俺の文才ではとても表現し得ないわ。あぁまた今夜も私は彼女の声
にまみれて寝るのね…

—あー、TOSHI 君のLIVE出たら本当にLIVEやりたくなっちゃったな。たまらんなぁ。
単体ではそれぞれメンバー元気なんだけど、結構バラバラになってるから…そろそろ合体
しねぇとなぁ。
今年はXも個々もそれぞれ暴れるからねぇ!!
覚悟しときなぁ ——— !!!

P.S.
X'mas 、誕生日と、プレゼントくれた方々、ど一もありがと!!
でも、あんまりお金使わんでいいからさ…ど一もありがとでした!!!

37KARAT/THE WHOOZE

Vanessa Paradis/Vanessa Paradis

監修：YOSHIKI
著　：小林信也（ヒーロー工房）

'93年X月X日発売!!
（たぶん5月か6月あたり）

YOSHIKI SUPER NON・FICTION

「蒼い血の微笑」

※仮題として告知していた「夢の中にだけ生きて」のタイトルです!!

小林「思いっきり書かせてもらうから」
YOSHIKI「僕を殺してしまいかねないものを期待しています…」

'93年2月、ロンドンでの二人の会話である。芸術家・YOSHIKIと作家・小林信也——この二人の魂のぶつかり合いが、このスーパー・ノンフィクション「蒼い血の微笑」!!

小林氏は、YOSHIKIの専属トレーナー・白石ひろし氏と共に"ヒーロー工房"を主催する人物であり、白石氏と共に「Violence In Jealousy Tour」のほとんどに同行し、YOSHIKIを影からサポートした。その頃からのYOSHIKIとの緊密な関係は、N.YでのX世界進出記者会見、その後のL.A、東京、そしてロンドンでの濃密な取材を経て、芸術家と作家の魂のぶつかり合いへと昇華した!!

この本はまさしく、世界へはばたくYOSHIKIとXの"永遠への序曲"となるであろう。

仕様：四六判上製ハードカバー／カラー口絵16ページ／本文256ページ／定価：1,500円（税込）

予約受け付け最後のチャンス!!　特典：ポストカードセット　締切：5月15日

●応募方法は下の予約カードに必要事項を記入の上、書店で予約手続きをして左のプレゼント応募用紙にも書店印を押してもらいます。（もう予約している方も、もう一度このプレゼント用紙に書店印をもらって下さい）この応募用紙と特典郵送用の62円切手を封筒に入れ、住所、氏名、を明記の上、〒156-91 世田谷区千歳郵便局私書箱25号ソニー・マガジンズ「YOSHIKI単行本予約係」まで送って下さい。締切は、'93年5月15日とさせていただきます。

ソニー・マガジンズ

書店印	●注文伝票（注文は書店で）
	YOSHIKI「蒼い血の微笑」 ●定価1500円（税込）
	●住所　●TEL
	●お名前　●年齢　●職業
書籍扱い	〒102 東京都千代田区五番町6-2 ㈱ソニー・マガジンズ TEL.03(3234)5811 FAX.03(3234)6753

※書店様へ：このカードがまいりましたら、台帳にお控えの上、お取引の販売会社へお早めにご注文ください。
▶この注文書は切り取らないで、コピーして使ってくれてもOKだ。お友達にもあげよう。

▶プレゼント応募用紙

YOSHIKI

書店印

住所

氏名　様

Rockin Photo

◆10/31 のサミットで撮った写真です。特に今回の髪型は一生懸命研究してやりました おまけに中に仕込んであるカーラーが地肌に当たって長い時間やってるとかんぼつするんです この日も出血したにもかかわらず気合いで頑張りました…

（水無月殺華さん）

◇これ、地毛なんでしょうか？つけ毛？私もこの人と写真撮りたいっ。顔つきのカンジもHIDEちゃん系…ですよね？でも、おでこが女の子っぽくてかわゆい（笑）。

◆7/30・武道館での写真です。まるでSHOXX から出てきたみたい なんて思ってしまった私です。

（群馬県・YOSHIKI の涙さん）

◇ちょっとぽっちゃりめの可愛いらしいHIDEちゃんです。右の方の服の布地や、左の方の帽子も手作りなんでしょうね…。

◆エクスタシーサミットの大阪へ向かう新幹線の中で撮りました。早くＸ復活祭、行きたいよー

（聖子さん）

◇この方もキレイな金髪…そういえばお便りの中で、コスプレして電車に乗っていたらサインを求められた…っていうのが来ていたけど、この方も「サイン下さい」なんて言われてしまいそうですよね…。

◆TOSHI が私です。YOSHIKI 、HIDE、PATA、HEATH 、今はがんばって！としか言えないけど、ずっと待ってるから。私達Ｘファンの愛は不滅です。

（P-XTASY/佳姫華さん）

◇写真だけ見て選んでいたら、同じグループの方が重なってしまいました。この「P-XTASY 」さんは、本当にみんなメイクが上手！写真の撮られ方も上手…このTOSHI くんのポーズもなんだかカッコイイ。他のグループのみなさん、また、もちろん個人のみなさんも頑張ってね！（頑張って、というのもヘンか…？）また、P-XTASY さんも懲りずに送って下さいね!!よろしく !!

◆10/31 のサミットで写しました。麗樹さんという真中の人はかっこよくて優しいです。青ドレスが私です。麗樹さん、見てますか？

（飯島千春さん）

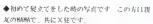
◇今回はウニ頭のYOSHIKI 様が多いですね。この方もキレイ…ちょっと顔が白くとんじゃってるのが残念だけど、きっとかっこイイんでしょうね。両側の２人もお美しいですねェ。Ｘファンは美人が多い?!

◆10/29 、大阪城ホール、那席でヒースくんをやりました。髪の分け目が反対ですけど…。生のヒスくん、かっこ良くて安心！プレイも楽しみです

（大沢江里子さん

◇おおー、出た、ヒース！初のおめ見えです！パチパチパチ。全国のヒースファンのみなさん！コスプレがんばってねっ！

Collection

◆このたび1月5・6・7日にイベントを開いた時にとったPHOTO を送ります。右側が私
（PSYCHEDILIC XTASY ・千葉支部長 白鳥龍羅さん）
◇なんか良いなー、この2人。メイクも上手！！写真を撮られるのもみんな上手いよね。1/5 〜7でイベントを開いたっていうのも泣かせる…

◆初めて髪立てをした時の写真です。この方は親友のMAMAで、共にX狂です。
（あゆみさん）
◇エ…！親友のMAMA?!お母さんっていう事…?!…ぐ…凄い…似てる…この親友さんは、「うちの母ってXのTOSHI に似てるの〜」なんて言ってるのでしょうか？か、かっこイイ…

◆エクスタシーサミットの時の写真です。ずっと「YOSHIKI ー」って叫んでて、お腹か筋肉痛…でも、凄く嬉しかった。写真のYOSHIKI さんは前号にも載ってる。すごいカッコイイっす
（ERIさん）
◇送ってくれたのはPATAさんの方かな？デビュー前のPATAさんですか…懐かしいっと思い、載せちゃいました。2人共、気合い入ってるね〜。

◆8/23のドームの時のものです。半分以上が大阪から出てきました。
◇ちょっと前に送られて来た物ですが、この金髪の気合い入り具合に、どーしてもボツにする事が出来ませんでした。掲載が遅くなってゴメンネ。

◆知合いの子で、ちょっとおだてたら調子にのってポーズまで付けちゃってます。それ以来HIDEが好きみたいです。
（RAY-LAさん）
◇チビッこシリーズ！この手つきにホレた！一応ヘビが首に巻いてるの、わかります？

◆1月のドームです。HIDEちゃんはピンヒールのブーツもはいてて、コンタクトもちゃんとはめてはった…（わかりにくいけど）YOSHIKI さんの方は友達で、顔似てるなぁ、という話からコスプレしたら、あらっ…「くりそつ」だった!!この衣装懐かしいでしょう？「VANISHING 〜」のピクチャーレコードと比べてちょ！
（滋賀県・「HIDEは私のビッグバン」さん）
◇うわ、2人共凄い！何も言う事はありませんってカンジですよね…。コンタクトやピンヒールまでちゃんと調達するなんて、気合い入ってる!!

イラスト ファイル

東京都・金久保友子さん

愛知県・小ボン松メグさん

福島県・「かき」さん

千葉県・佐野あゆみさん

千葉県・佐野あゆみさん・その2

新潟県・ちゃっぴーPATA子さん

臼井純江さん

ぷりんさん

栃木県・けんしろう×2さん

茨城県・かぁーらぁ す!さん

岡山県・P--chan

福岡県・川口知子さん

兵庫県・クレヨンHEATH さん

東京都・出山サリーさん

智子さん

熊本県・宮里美佐江さん・その2

千葉県・佐野あゆみさん・その3

希英さん

宮城県・小林利奈さん

高知県・岡本幸さん

東京都・比留間清香さん

神奈川県・かずえさん

茨城県・村上友佳子さん

郡山市・服部あかねさん・その2

千葉県・秀美さん

いつもいつもたくさんのイラストありがとう！今回は常連さんも含め、おもしろいものがたくさんあって選ぶのに迷ってしまいました。次回は、ラフなものも待ってますが、シリアス＆美しいものもお待ちしております。美しいといえば！ＹＯＳＨＩＫＩのイラスト…もうちょっと待ってみようかな、と思っております。みんな気合い入っていて、時間がかかっているのでしょう。次号こそは！必ずコーナーを設けますので、まだまだ美しいよっちゃんをどんどん送って下さい！待ってます！

「あき」さん

ＹＯＵＮＸさん

広島県　林　京子さん

愛媛県・俵原代利紀さん・その２

静岡県・石川須美子さん

ＭＯＲＩＥ２さん

名古屋市・パラリンさん

広島県・もよこ理恵さん

ＭＯＲＩＥ４さん

東京都・由佳and ゆ　ちゃん

埼玉県・佐々仁美さん

愛媛県　俵原代利紀さん

京都府・長峯あかりさん・その２

芳賀淳子さん

熊本県・宮里美佐江さん

茨城県・村上友佳子さん　その２

愛媛県・酒井郁水さん

茨城県・おハナがかけない智子さん

魔美さん

「ひでchanのウッキ　」さん

山形県・良川秀真さん

神奈川県・ＫＥＩＫＯさん

郡山市・服部あかねさん

大阪府・TACHIKI さん

神奈川県・巳陰常由鳴汐さん

◇みなさん、始めまして。私は去年の12月〜今年の1月まで、アメリカにホームステイしたのですが、その時に1ケ月で8人のアメリカ人をXファンにしました！（笑）私がピアノで「ENDLESS RAIN」を弾いていたら、誰の曲？という事になり…バカな頭をフル回転させて、メンバーの説明をしました。CDも聴かせて…みんな是非彼等が見たい！と言うので「紅白という番組に出る」と教えました。（アメリカでも1日遅れで見る事が出来るんです）すると、家族全員がテレビの前でXの出番を待ってくれるじゃありませんか！いつもは9時には寝てしまうのに（笑）。その後、近所のガキ達にXジャンプを仕込み、ホストファミリーの1歳の女の子に「X from JAPAN」と「気合い」という言葉を教え込み…（その子はPATAさんが気に入ったらしく、「パットゥァッ！」とバツグンの発音で言ってました）なんだか忙しいホームステイを体験しました。ちなみに「BLUE BLOOD」のCDはどうしても欲しいというので、アメリカに置いてきました。きっとXは世界のステージで最高のライブをぶちかましてくれる事でしょう!!もう早くもXを待っているファンがいるのです…（笑）。つきすすめX！Every things gonna fell alright!!（なんとかなるさー）
以上、1ファンのアメリカレポートでした。

（あずさん）

◆勉強などで海外へ行っている会員の方から「Xを宣伝してきちゃいました」なんていうお便りも結構来ています。海外特派員ってカンジでしょうか（笑）。みんな、海外のXファンと交流する為にも英語だけは（？）勉強しておこうぜ（笑）。

◇年明けそうそう心温まる話を聞いたのでみなさんに紹介したくて書きました。私の友達にチェッカーズのファンの子がいます。みなさんも知っての通りチェッカーズの最後のステージはNHKの紅白でした。紅白は往復ハガキで応募して、当選した人が観覧できる…という仕組みになっている為、その子はハガキを200枚も買い込みましたが、見事に全部ハズレてしまったのです。しかし、最後のステージという事で、入場出来るあても無いままNHKホールへと出掛けてゆきました。入場待ちの人達にチケットを譲って下さいと泣きながら頭を下げましたが…チケットは手に入らず…時間も無く…途方に
泣いている子達も沢山居ました。そんな時、
Xファンとわかる怖そうな人達が、地面に土
てNHKの人にチェッカーズファンを中に入
れる様に頼み始めたのです。周りの人達が白
見るのも気にせず、何度も何度も頭を下げて
のです。せっかくの熱意も通らず（さすがN
パニック直前のチェッカーズファンに「新メ
5人で演奏するの始めてだし、1年振りだし
ット手に入れるの大変だったけど、Xはこれ
たステージやるから…」と言ってチケットを
くれた人も居たそうです。私はそれを聞いて
しくて、Xファンで居る事を誇りに思いまし
回の事なんて、初対面でどうせ二度と会わな
しれない人の為にXを見るのを我慢するなん
分が実際その立場になったら出来るかなあ？
と少し恥ずかしくなりました…。その時チケ
譲って下さった方、一緒に土下座して下さっ
「本当に本当にどうもありがとうございまし
局中に入る事が出来、チェッカーズのラスト
ジを見る事が出来ました。Xファンの方々に
ても感謝してます。ありがとうございました。
友達からの伝言です。

（神奈川県・真衣

◆うーん、イイ話ですね。あの年末の慌しい
んな素敵な出来事で年を越せたなんて、本当
ったですね。このお便りを読んで、FCスタ
同、凄く幸せな気分になったのと同時に、X
のみんなに誇りを感じました。みなさんとか
てこれて本当に幸せ者だなぁ、と思いました
ントに。

◇質問なんですが、前号の「DANCE2NOISE 撮
ート」の終わりの方に「大きなケガも無く…
いてありますが、小さなケガはあったんでし
？とても心配です。

（山口県・津田

◆無い、無いって（笑）。まったく心配症だ
こいつうっ（と、あなたの額を人差し指でつ
みる（笑））。

◇スターライトYOSHIKIの次は"クレイジー・ドールHIDE"なんてどうでしょう？優しく話かけてあげると「ピャピャピャ…」と唱ってくれます（笑）。最近服部あかねさんのイラストが載ってなくて寂しいなー。

（古林ゆみさん）

◆いつもいつもイラスト送ってくださってありがとうございます！今回は4コマまんがも掲載させて頂きました。4コマ目のHIDEちゃんがミソらしいです（笑）。

◇この前、私の部屋のドアを開けたままHIDEちゃんのポスターに向かって「どうしてあなたはHIDEちゃんなの？」と問いかけていたら、お兄ちゃんがひそかに見ていた。そして最後に「あぶねぇ奴」と一言言って去っていった。私ってあぶないですか？

（北海道・松本秀奈さん）

◆ちょっとあぶないかもしれない（笑）。でも気持ちは凄 ―― くわかりますよ。

◇ある日、車に乗っていた時の事。赤信号で止まりました。すると２・３台前の車になんと「YOSHIKI-KENZAI」とトラックの後部に書いてありました。私は運転していた父に「YOSHIKI 健在だって、トラックに乗っている人もYOSHIKI のファンなんだ―」と大騒ぎしていました。ところが…「YOSHIKI-KENZAI」は「吉木建材」だったのです…。

（宮城県・大宮さん）

◇この前、夜眠れなくて「羊が１匹、羊が２匹…」って数えてたんです。でもその内、YOSHIKI さんファンの私は「YOSHIKI さんが１人、YOSHIKI さんが２人…」って数え始めました。「YOSHIKI さんが24人…」まできてフッと思いました。「もし本当に私の周りにYOSHIKI さんが２４人いたら…キャー♥嬉しすぎるー…」

（熊本県・中野由美子さん）

◇つい最近、英語の単語テストで「HIDE」という語が出題されました。感激に私は迷わず答を「松本秀人」としました（笑）。採点をして返って来た答案用紙では先生直筆で「これは"隠す"です」というコメント付きでバツを頂きました（笑）。

（秀蓮さん）

◆こんな大バカヤローが私は大好きです（笑）。

◇11月21日にTOSHI さんのアルバム買いました。すっごい良かったです。なんか聴いていたら、凄くイライラしててもなんだか自然に落着いてくるって感じで…。

（兵庫県・瀬山慶子さん）

◇紅白、泣けました。テレビをライブだと思って首振って聴いてました。本当に嬉しかったです。これからXのみんなは打上げかな、とか、もう１年経つんだなぁっていろんな事思い出しながら見てました。NEW メンバーになって前よりもずっと力強く感じます。Xがなんだか大きく見えました。Xを信じて待っててよかった。１年前、つらい事がいっぱいあったけど、でもXは私達を裏切らなかった。コンサート楽しみに待ってます。

（静岡県・ひとみさん）

◇紅白みたみたみた ―― !!家族全員でやんややんやの大騒ぎ！Xが大好きなうちのお母さん、演奏中ずっと「YOSHIKI のドラムは凄いワー」を連発。「YOSHIKI のドラム聞いとったら他のバンドのドラムなんか聞いてられんわ。」紅が終わった後、興奮状態で「あー、はよライブ行って本物のX見なあかんわー」…とこんな調子で今年１年の楽しい幕明けでした。

（横山直子さん）

◇12/24 、僕はクラスの人に「紅白にXでるんだよー」と言われて初めはウソかと思ってしまいました（笑）。当日はみんな格好良かったです！特にTOSHI くん！あと、始めてHEATH ちゃんがプレイしている所を見ましたが、とてもカッコよかったー!!早く復活してシーンに戻ってきて下さい！

◇紅白見ました。TOSHI さんが久し振りにXとして歌ってくれて嬉しかった…。「TEARS 」もとても素晴らしかった!!HIDEちゃんの衣装がフリフリでかわいくて…PATAちゃん、最初カメラに写ってなくて、いないの？って思ってたら後ろの方でスモークに巻かれてた（笑）。そんなこんなすべてが嬉しかった…，早く大きなステージで私達の所へ帰って来て下さい。愛してます！そして今年もどうぞよろしく！

（東京都・初音さん）

◆紅白って年が明ける直前まで家族と一緒に見るのが常だったりするから、Xをよく知らない自分の家族に「このバンドなのヨー」って知らしめるには丁度良い機会だったりするのよね。私も90歳のお婆ちゃんに無理矢理見せました（笑）。

◇今日は１月７日。あの日から１年が経ってしまいました。私は夕方、バイトをさぼって１人で東京ドームに行ってみました。１年前にはこの場所にコスプレをした人達がたくさん居たなー…と思いながら眺めてました。時計を見ると6:30スギ。客電がいつ消えるかワクワクしてる頃…。なぜか少しニヤケてしまい、ただの変なヤツになってしまいました。30分位で帰りましたが、去年の今日、Xが何をしているのか、まったく想像できませんでした。たった１年でXは何倍も大きくなったと思います。帰ってからはドームのビデオを見ました。今日ビデオを見たファンの人はたくさん居ると思います。１年がこんなに早いなんて、これもX時間にはまってしまったせいかな？来年の１月７日は何をしてるでしょう。楽しみです。

（たらちゃん）

◇学活が終わるなりCD屋に駆け込んで、家に帰ったものの、すぐ聴いちゃうのが何だか怖くて…ブックレットをしばらく眺めたりして…でもついにSTARTボタンを押した時…最初の１音から理屈抜きでかっこいいーっ!!!!「DANCE2NOISE 」の「FROZEN BUG」!!それからは息さえもひそめて、こみあげてくるセキも押えて１音ものがすまい、と聴きいった!!この２日間、この曲だけをエンドレスで聴きまくり。是非、LIVEやってぇー！部屋の中だけで聴いてるだけじゃ踊り狂ってる頭も内臓も破裂しちゃう。ビール片手に踊り果てたい!!

（CHARA さん）

◆ライブ、やって欲しいよねぇー!!取材だったとしても、私もみんなに混ざってきっと踊り狂ってしまうかも…（オイオイ（笑））。

◇こんにちは!!「HEATH の50の質問」読んで思わずニンマリしてしまいました。何故って、好きな酒／WILD BEAT って我が家の冷蔵庫でも発売以来ずっと必須アイテムだったから。あ、ちなみに私はレッキとした33歳の大人です。髪振り乱してラップの芯で座ブトンを叩く娘４歳と、ブロックで長ーいネックのギターを作って家中走り回る息子２歳と、朝晩よっちゃんのポスターに向かって「元気？」とニコニコ手を振る高校教師の夫…の代表として、ファンクラブに入りました。ところが先日、いつものスーパーでいつもの様にWILD BEAT を買おうとしたら…無い!!店員さんいわく「売れないからやめました」…でも、いいの。これからは例え夢の中だけでもいいから、HEATH くんとWILD BEAT で飲み明かすんだい!!

（長野県・ひでぽんさん）

◆お酒を飲まない未成年者のみなさんへ。WILD BEAT とは、ビールの種類です。早くお酒が飲める様になるとイイね♥それでＦＣのみんなで「５万人飲み会」なんて開いたりして（しないしない）。

（埼玉県・海老原　光さん）

「寝る子は育つ。」私の見た夢コーナー！！

◆TOSHI さんはあの迫力ある声で私の名前を呼び、そのまま寝てしまいました（笑）。HIDEさんは、マンションのベランダからベランダを飛びまわり、「HIDEさんらしいなぁ。」と私は感心していました。でも会えて（夢だけど）凄く良かった！

（栃木県・サリーちゃん）

◆ウチの学校の卒業式にPATAさんがウチの制服（セーラー服）を着て参加してて、みんなと一緒に泣いてた…（笑）。おまけにPATAさんはみつあみをしてました。

（岩手県・大沢ゆかりさん）

◆自分が教室の後ろの方で友達としゃべってると、PATAちゃんがおなじみのJACK DANIEL'S のＴシャツを着て片手に[illegible]チップを持って楽しそうにニコニコ笑いながらそれを食べて、教室中を走り回っているんです。夢の中の自分はその光景を少しもおかしいとは思っておらず、「また走ってるよぉ」と言って友達と何てことなしにしゃべっていた、という夢でした…。

（波多利朗さん）

◆先日見た夢の話です。始めにYOSHIKが出てきました。次にお花畑が出てきたんです。そのお花畑はゆるやかな坂になっていて、YOSHIKI は笑いながら転げ落ちてゆきました。すると、坂の下になぜかフトンがあって、YOSHIKI は突然フトンに入って眠ってしまいました。しばらくして、ムクッと起き出して「行ってきます」という言葉を残し学校へ行ってしまいました。？？？

（「目玉の秀」さん）

◆なんだかよく知らないＣＤ店にXのアルバム宣伝用のポスターが貼ってあったんです。「わっ、もう

◇ジャン。私の部屋の押入れです。左端の皮ジャンは手作りです。

（希英さん）

◆おおー。PATAさんコーナーですね。しっかりジャイアンツの野球帽が飾ってある…（笑）。

◇私の部屋です。この中に「スターライトYOSHIKI」さんが居ます。さぁ、どこ？余裕ですね。

（愛知県・孔美さん）

◆さて、「スターライトYOSHIKI」は発見できましたが、この中で１つだけXではないバンドの写真があります。みなさんは見付けられますか？FCのＭ２号は「えっ…？どこ…？」とまだ探しています（笑）。ちなみに上部端のものではありません。正解者には孔美さんから素晴らしいプレゼントを…っていうのは冗談で ―― す（笑）。

◇１年前、美術の授業で作りました。こんなにうまく出来たのはやっぱりモデルが良かったからだよね！

（首藤裕美さん）

◆お手製カレンダーですね？ここまで来るともう何も言えない…。当然、美術の成績はバッチリ！でしょ…?!

◇いつもYOSHIKI さんを背負っています。

（橋本はるみさん）

◆もし、どこかでこのジャケットを見付けたら、橋本さんなんですね？…

今月の作品！！

◇友達の車です!!

（さおりちゃん）

◆これ、誰が書いたんですか？車の持ち主さん!?凄いですねー…。

出るのか♥ウレシイ♥」と思ってタイトルを見たら「ＡＧＡＩＮ」だった（笑）。あんまりXにはあってない気もするけど（笑）。「再び」なんて、なんかイイな…。（東京都・林 朋香さん）

◆この間、YOSHIKI さんが私を車に乗せてくれて、一緒におしゃべりをした夢を見た…。すっごく嬉しくて…楽しくて…心の中で「夢じゃありません様に…」って何度も祈ったけど、やっぱり夢だった…。目が覚めた時は悲しくて泣きたくなった…。（乱さん）

◆昨晩、Xの復活LIVEの夢を見ました。TOSHI がHEATH さんの紹介をしたんです。そしたらHEATH さんは突然ステージから飛び降りて、３階席の私の所までダーッと走って来て、隣に座っていた友人の腕をつかんでまたダーッとステージに戻っていきました。…なぜ私を連れて行ってくれなかったんだろう…？（京都市・土居桂子さん）

◆私の見る夢は変です。ある日、HIDEさんと私がYOSHIKI さんを見付けて林の中へ入ってゆくと、急にボヨーンとHIDEさんが風船の様にふくらみ始めて、逃げ出す私の後を「ボヨヨン　ボヨヨン」と言いながら追い掛けてくるのです。しばらくするとHIDEさんの姿は消え、…後ろから声が…振り返ると…!!YOSHIKI さんがHIDEさんを持って「割れるよォ～」と言ってこっちへ走ってくるじゃないですか!!またまた私は逃げ出した…という夢です（笑）。（YOSHIKI のQちゃん）

◆TOSHI が「オレ昨日三輪車買ったんだ」と言って笑いながら乗っていると、YOSHIKI が「オレにも乗せて」とTOSHI に話かけていた。するとPATAが「オレなんかジュリナちゃんだぜ～」と訳のわからない事を言って通りすぎていった…（笑）。（TOSHI に育てられたしいもんきい）

◆俺がHIDEに「オデコにゴミついてるよ」と言ったら「じゃぁ、取ってよ」と言うので取ろうとしたら間違えてオデコの飾りをとってしまった。そしたら血がバーッと出てきて、止まったと思ったらそこにはもう１つ目があって、HIDEが「…見たなっ…」と言って俺の事を追い掛けて来た。起きたら汗をかいていた。（栃木県・ENDLESS DREAM くん）

◇貴重な男性常連のENDLESS くん。さすが男の子の見る夢はハードだなぁ（笑）？

◆白い階段の上で、HIDEちゃんとTOSHI くんがLUNA SEAのRyuichi さんにインタビューされていた。HIDEちゃんは「豆腐」を持っていて、そのままこけた。それを私はビデオで巻き戻して３回見た。？（「まつもとひでこ」さん）

◆私とHIDEちゃんがセーラー服を着て、学校に登校していた。学校に着いてみると、他のメンバーは体操服を着ていて「おはよう、いい朝だね」って言いながら３人で何かわからない踊りを踊っていた。私とHIDEちゃんは、何故かそこで花札を始めていた、ナゼ体操服で、ナゼ花札なのか…？（福岡県・「目玉のおやじ」さん）

◆TOSHI が塾の中にいるっていうウワサを聞いたので、お母さんと行ったらTOSHI がいきなり先生になってて、テストの丸つけをしていた。そして「ちゃんと勉強しないといけないでしょう」と怒られた。ずうずうしく私は「３年生になったら担任になってネ」と頼んだら「イイヨ」と言ってくれた。幸せだった（笑）。（「古枯し」さん）

◇は～、なんてみんなメチャクチャな夢を見ているんでしょう（笑）。でも、人間の神秘ですよね。このコーナーが始まってから、夢判断の本などを読み始めた方もいるみたいです。１つの事をずっと考えてばかりいたり、潜在的に気になっている事などが夢になって出てきてしまう事が多いらしいです。みんなそれだけXの事ばっかり考えてくれてるって事なんでしょうね。さぁ、今日はどんな夢を見るかな？…

◇10/31 のエクスタシーサミットに行きました。楽しみにしていたけど、すごく悔しい一日になってしまいました。Xのファンは凄く仲間意識というか、他人にも気を遣ってくれたりしますよね？そう信じてたのに…。LIVEの途中、気が付くと椅子の上に置いてあったカバンがなくなっているのです。青くなって回りを探したけど、どこにもなくて…。ライブ終了後受付けに行きました。そこに私のカバンがあったので、凄くホッとしたのですが…中を見てガッカリしました。お金は全部取られていて、１円も残っていませんでした。それに、Xのお店で買った小銭入れのちょっと大きめのあるでしょ？あれに私は口紅とかを入れてたんだけど、中身はカバンの中に散らばってて、その小銭入れが無いの。…一番頭に来たのは、スケジュール帳の中に入ってたYOSHIKI の切り抜きがなくなってるの！それ、凄く気に入ってて、イヤな事があるとそのYOSHIKI を見て「ガンバロー！」とか思ってたのに（少し暗いけど…）。中身のぐちゃぐちゃになったカバンを持って、どうしてこんな目に合わなくちゃいけないの?!と思って…自分の不注意さにも腹が立ったし、本当はこんな事書きたくなかったけど、誰かに聞いてもらいたくて書いてしまいました。楽しいはずのエクスタシーサミット、私にとっては凄く残念な悔しい１日になってしまいました。（東京都・「なぎ」さん）

◇11月１日から１ケ月間、営団地下鉄駅の構内でYOSHIKI さんのマナーキャンペーンのポスターが貼られているはずでした。はずでした、というのは、殆ど途中でファンと思われる人にはがされて残っていなかった為です。キャンペーン終了後、ポスターを分けてもらえる様にと駅にTEL をかけまくりましたが、とうとう１枚も見付ける事はできませんでした。「欲しい！」という気持ちはよくわかります。でも、貼っている物を、しかもカバーを破ってポスターを盗むなんて…、YOSHIKI さんは、マナーの内容は違うけれど、キャンペーンのモデルを努めていたのに…ファンがそれを無視する様な行動をとるなんて、YOSHIKI さんに対してもあんまりです。会員の人ではないと思いたいですが、例え会員以外の人でも、Xのファンがそんな事をするなんて本当に泣きたくなるくらい悲しくて仕方ありません。（前田規三子さん）

◇私の家では昨年12月から電話の名義を祖父の名前から父の名前に変更しました。すると、12月中旬頃から変な電話が続く様になったんです。父の名前は「松本秀人（ひでひと）」と言って、HIDEちゃんと漢字だと一緒なんですけど…。父や兄が電話をとると「Xのひでとさんですか？」「ひでちゃんですか？」と聞き返す事がほとんどで、主に私や母が出ると突然切れたり、無言なんです。たぶん…いえ、ほとんどこれらはXのファンの子の電話じゃないかな…って思う。たまたま私の家だったから良かったけど（？）、これが一般の方の家だったらって考えるとゾッとする。こんな事でXの印象悪くしたくないじゃない。私だってXファンだからメンバーと話したい、声が聞きたいって気持ち充分わかる。でもね、仮にうちにかかってきた分の電話が本当にメンバーの家にかかったとしたらそれは凄い迷惑だと思います。（だって、ハンパじゃないんだから…）だから、そんな事はしないで欲しい。自分達の為にも、一般の方の為にも、そして何よりXの為に…。（「復活待ってるよ」さん）

◇最近のファンのマナー…あなたはどう思いますか？別にイイ子ちゃんになろう、とかそういう事ではなくて、一般の方々は、Xファンである人みんなの事を通してXを見る事が多いんだって事…と同時にそういう事をしている人自身の常識の問題だって事…（いや、常識以前の問題かもしれない）その人にとってもXにとっても好ましくないって事だと思うんですけど、みんなはこういう人達に対してどう思いますか!?ファン同士のケンカとか、他のファンの間でも良くある事だけどさ…（私が以前ファンだった某バンドのファンの間では、メンバーの住所の売り買いはFCでも黙認・しらん顔。電話で「それはファンの方々の間の問題ですから」（？）とFCのねーちゃんに言われて、頭に来てすぐFCやめた）でも！他のファンと一緒になりたくはないと思わない？だって「X」のファンなんだから。あたしたちの「X」は他とは比べられない位、カッコよくて素敵なんだって事はあたしたちが一番良く知ってるはずよね。だったらあたしたちも「良くあるファン」って感じにはなりたくないと思わない!?私もいろいろなバンドのファンになって、ライブもたくさん行ったけど…会場とかで一気に凄くたくさんのX友達が出来て、みんな信じられない位イイ子ばっかりで…。こんなの正直言ってXが初めてです。だから、困っちゃう様なファンってほんの一握りだと思う！あともうちょっとじゃない？日本一、いや、世界一カッコイイバンドになろうとしている「X」なんだもん、世界一「カッコイイファン」になろうよ！みんなで！（Xファンみんな大好きに「なりたい」"YOSHIKI のPIANO "さん）

◆みんなの意見も聞かせてね。

◇これはまぎれもなく、TOSHI サンDOLLです 私の友人が作ったのですが、結婚をするので私が頂きました。服はもちろん皮。結婚記念に載せて下さい。（Xを愛し続けてはや５年のPOWERFUL CROSS LOVE さんより）

◆表情が可愛いですよね。皮って縫うの大変じゃなかったですか？みんな愛がこもってますねー。

今月のそっくりさん。

◇この２人、とても他人とは思えなかったので送ります。（加藤美枝さん）

◆おお～。手つきがグーかパーかの違い（笑）。

直撃インタビュー／大阪エクスタシーサミット番外編!!

何故ここでエクスタシーサミットなのか…それは私の撮影技術の未熟さから始まりました。思えば昨年。せっかく大阪城前で開演前にインタビューしたにもかかわらず、東京に戻って現像すると…ガーン…真黒…。それも彼女達の写真は特に色味が悪く、掲載出来なくなってしまったのです。幸い、会員ＮＯを控えていた事もあり、これでは彼女達に申し訳無い…と連絡を取りました。…しかし、さすが！彼女達はちゃんと自分達の姿をフィルムにおさめていたのでした！しかも、こちらの不注意なのに、心良く写真をわざわざ送ってくれて、本当にありがとう。あの時はゴメンなさい。またツアーが始まったら、会場でインタビュー出来るといいな、と思ってます。

－Xへのメッセージ－

「世界中の人達の閉ざされている心の壁をXの音楽でぶち壊して下さい。XがXである限り、私達はどこまでもついて行きます！心から愛するXへ」

（左からRIE さん、MIYUKIさん、HIROKOさん、AIさん、SAKIKOさん、RIE さん）

◇Xの本◇

たくさんXの事を自分達で小冊子にしている方が多いにもかかわらず、１度も会報で御紹介した事がなかったんですよね。今回、タイミング良く送られて来た、この「FREAX 」を御紹介します。最初ＦＣに送られてきた時は、プロのイラストをやっている方だと思ってしまいました。劇画調有り、カワイイ４コママンガ有り…で、とても面白かったです。でも、それ以上にXへの愛を感じんですよね、やっぱり…。続編が出来たら、また送って下さいネ

『ＦＲＥＡＸ』
／松本木琴鳥直美さん、ＨＩＤＥＴＯさん、「けんちゃん」さん

☆業務連絡☆

＊郵便物の未着について
こちらではコンピューターでリストの管理をしています。発送の際には、条件に合う方の宛名シールは全件プリントしますので誰かだけ送らないという事はありません。X-PRESSやお知らせの発送に関しては留守番電話にも入れておきます。こちらから発送後の届いた届かないに関しての責任は負いかねますので御了承下さい。もし「友達には届いているのに、私には届いていない」なんていう時にはなるべく早くお知らせ下さい。
マンションやアパートなどは誤送されやすいので名札や表札を必ず出しておいて下さい。建物自体に名前が出ていない場合は一度、管轄の郵便局の方へ住所の確認に行っていただく事をおすすめします。

＊住所変更について
引越しや区画整理に為に住所が変わったという方は必ずハガキで「住所変更係」まで早目にお知らせ下さい。その際、あなたの会員番号、名前は必ず記入して下さい。会員番号が記入されていないと、せっかく出していただいた住所変更でも、コンピューターの検索ができないので住所の修正ができません。注意して下さい。それから「住所変更」のハガキを出す時に、郵便局にも転送届けを必ず出して下さい。1年間は新しい住所に転送してくれます。郵便事故を防ぐ為にも、必ず行って下さいね。

＊会費の継続について
封筒の宛名シールのあなたの名前の下に、あなたの有効期限が記してあります（例：9303→1993年3月末日迄）。あなたの有効期限の月の末日（消印有効）までに次期会費￥４０００を振り込んで下さい。用紙は会報に綴じ込んであるものを使用し必要事項を記入して入金して下さい。会員番号などの記入もれがあると、新規入会の処理となり、元の番号に戻す事はできなくなりますのでご注意下さい。もし、期間中になんらかの理由で入金出来ないという方はその月中にハガキでこちらまでお知らせ下さい。
用紙を破いてしまったり、汚してしまったという方は郵便局に備え付けの振込用紙に以下の必要事項を記入して入金していただいても手続きはできます。
「用紙の表」
口座番号：東京０－１３１６００
加入者名：エクセス２４　Xファンクラブ
金額：４０００円
「用紙の裏の通信欄」
あなたの会員番号、氏名、有効期限(例:9303)

＊会員証について
カード型会員証は届いていますか？最初の年は黒２年目は金、３年目はステンレスカードです。届いたカードの裏には各自、会員番号と名前を記入して下さい。継続のカードのお届けは、X-PRESSとは別発送です。有効期限の月の翌月末日の発送を目安にして下さい。
「ステンレスカードにキズがついてるぅ」という方。ビニール袋から出して、カードの表面にはってあるビニールシートをはがしてみて下さい。はがしたのにキズがついてるという方は「カードにキズが･･･」係まで送り返して下さい。新しいカードをお送りします。
キーホルダーを使ってて壊れてしまった方。壊れたキーホルダーと１２０円切手１枚と６２円切手２枚を同封して送って下さればお取り換えいたします。X-PRESSの製本ミスなどの場合も、お手紙を同封してこちらに送り返して下さい。

＊質問やクレームについて
質問やクレームのある方は電話かハガキ・封書でお願いします。郵送の場合は、返信が出来る形で（例えば往復ハガキ）送っていただけると、すごく助かります。

＊その他の郵便物・プレゼントについて
毎日、山のようにお手紙が届きます。どうもありがとう。メンバーへのお手紙はちゃんと渡していますので、心配しないで下さい。どのメンバー宛かが宛名にしっかり書かれていないものは誤って開封してしまい「ごめんなさい」という事になりますので注意して下さいね。そのお手紙、ポストに投函する前に料金を計ってみて下さい。手紙の枚数が多いと６２円切手では料金不足の場合があります。こちらに届いてから不足料金を払うのはちょっと困りモノです。料金の確認だけはみなさんでお願いします。
プレゼントに関してですが、メンバーからのお願いです。気持ちを込めて「御守り」や「千羽鶴」を送ってくれる方。気持ちはとても嬉しいです。でも「御守り」が何個もあると神様同士ケンカになっちゃうと困るので気持ちだけ頂きます。申し訳ありませんが、送るのは御遠慮下さい。

＊電話について
☎03－5458－6090
受付時間:月～金 13:00～18:00
（時間外はインフォメーションテープ）
☎03－5458－6091
２４時間インフォメーションテープ
こちらの電話番号は以上の２本だけです。これ以外の電話はこちらにはつながりません。お問合せはすべて上記の電話番号にお願いします。間違い電話が減らない様であれば、こちらの電話を廃止する事になります。電話番号はゆっくりと正確に回して下さい。もしも、万が一間違い電話をしてしまったら「すいません。」と丁寧にあやまりましょうね。

京都府・長峯あかりさん
（たくさんイラストありがとう）

今年の冬は雪も少なく（東京のハナシ…）ウレシイな。何故なら私はすぐにつるつる転んでしまうからです（笑）AC/DC の２枚組ライブCDが手に入ってしまったからにはもう何も出来ない…。そんな事はともかく、ビデオ撮影の現場に取材で行っていたら、すっかり朝の気持ち良さを知ってしまった（それも5時とか6時とか）。夜は12:00 迄なんて、とても起きていられなくなってしまっていた筈なのに…。今は会報のデザインをやってくれている「アートプレス」さんで編集作業中…AM4:00になろうとしている…。ウソでしょ…もう死にそぉです。デザイナーのSさんは、「ぐえっぐえっへへへへへ」とおかしな笑い声を発しています。私も笑っちゃおうかなぁー。はははははははは－（笑）。ふぇーん。

自業自得だっのM1号もっchang

この間、私が高校生の頃に憧れていた人と（もちろん男性）一緒に飲める機会があったんだけど、いやあ、めっちゃくちゃ緊張してしまいました。その人の話している姿や、笑い方、吸っている煙草とかを見ていたら、何か不思議な気持ち、と言うか、感動をしてしまって話しらしい話しができなくって、ちょっと残念でした。やっぱり、憧れの人に会うっていうのは、言葉に出来ない気持ちになってしまうのよねえ。それにしても、いい人だったな…。
もうすぐ春が来て、暖かくなると新しい人と出会うことも多くなると思うんだけど、別れる人もいるんですよね。私の場合、地元の飲み屋の店員が、結婚の為、福岡に行ってしまうんですよ。何だか、遠くに行ってしまうのも寂しいんだけど、結婚してしまうっていうのも、何だかねえ…おない年なのになあ。やっぱり春はお別れの季節なのかしら?

思っていたより純粋だった某Nさんに感動したmaeda

ダウンしました。すいません．．．　MORO

That's Communication 増刊号 通巻第[illegible]号 平成5年4月10日発行 毎月1回15日発行 昭和29年2月20日 第3種郵便物認可 発行所／G-YOU 〒113東京都文京区湯島1-9-14ブチモンドお茶の水201

250円